

静岡県の大学生が作る情報誌。学校の枠を超え、静岡県で学び尽くしたいひとへ――

静岡時代

SHIZUOKA JIDAI

32

2013 Autumn Issue

Since April 2006

おてらいく
おてらいふ

お寺が好きな私にとって、秋といえはお寺の秋。もちろんお寺が好きな人もいれば、興味がない人もいますが、私たちが通う大学のはじまりは、実はお寺にあるのです。そんな遠いようで近いお寺のこと、考えたことってありますか？そもそもお寺って何か、お寺の魅力って何なのか、そもそも静岡のお寺ってどうなの？それを知れたらお寺の見方が変わるかもしれない。

A free magazine made
by university students in Shizuoka pref.
-A new measure

¥ ○



特集

おてらいくおてらいふ

秋の季節がやってきました。お寺が好きな私にとって、秋といえばお寺の秋。紅葉とお寺の絶妙なコントラストが好きなのです。もちろんお寺が好きな人もいれば、興味ないし考えたことがないという人もいますが、私たちの通う大学のはじまりを辿って行くとそこにはお寺があるのです。

そんな遠いようで近いお寺ですが、案外、お寺のことについて考えたことってあまりない気がします。そもそもお寺って何なのか、お寺の魅力って何なのか、みんなはお寺についてどう思っているのか、そもそも静岡のお寺ってどうなの？ それを知れたらお寺の見方が変わるかもしれない。今よりもずっとお寺のことが好きになるかもしれない。だから今年の秋は、お寺のことをじっくり考えてみたい、そう思ったんです。

編集長/天野和佳子(静岡大学)
副編集長/木下莉那(常葉大学)

笑顔・感動・感謝・喜びを伝えたい!!

オーダーメイドアートGIFT〈名入れ専門店〉

アドエス/名入れ/エッチング(サンドブラスト)/Etching/彫刻 検索

メモリアルグッズ・プライダルグッズ・ギフト、ノベルティグッズ・トロフィー・播・表札・看板・インテリアガラス・版木 etc.

大切な人、恋人などのお誕生日プレゼントのご提案



期間限定特典

〈H25. 11月末日まで〉

通常 5,000円 (税込)

加工代

3,000円 (税込)

- デザインはオリジナル対応可
- ラッピング・袋サービス
- ボトル代別途



特典 その1

持ち込みOK、
歓迎

特典 その2

オリジナルデザイン
対応、大歓迎

特典 その3

各種オリジナル
サービスあり

特典 その4

各種割引制度
あり

お気軽にお問い合わせください。あらゆる贈り物のご相談承ります。

「この広告〈感謝201334〉を見た」

と言ってご注文いただくと、1点につき **学割 500円引。**



The Best Gift Present Shop

手づくりエッチング工房 アドエス

E-mail: ades@eco.ocn.ne.jp

〒435-0054

静岡県浜松市中区早出町231-4

TEL・FAX 053-544-5588

URL: http://www.ades-web.com

お寺は歴史の宝庫、たま
らなく好きですね



神社好きですが、お寺の和
風な感じは好きです



お寺って日本文化のイメ
ジが強いです



お寺は生活に関わるもの、
ただそれだけ



戸辺 詩織さん

大学：静岡大学
学部・学科：情報学部情報社会学科4年

月に何度か、お寺に行きた
い欲が湧いてくるんです

私は幼い頃から歴史に興味を持っていて、歴史的建造物を見るのが好きでした。だから、有名な武将の武勇伝や珍しいお宝など、歴史がいつぱい詰まったお寺は大好きですね。また、お寺ってその時代の文化を反映するものなので、時代によって建物やお庭の造りが違ってきますよね。そういった違いを感じたり、お寺の歴史と自分の歴史の知識を照らし合わせて、ああ、こ

れがあの有名な徳川家康が建てたものか、といったことを考えたりしているのと、普段自分が抱えていた悩みとかがリセットされる気分になるんですけどね。自分が悩んでいたことがとてちつぽけなことにように思えて、普段考えていることなどを忘れさせてくれる空間が、お寺にはあるんですよ。だから、一時間でも二時間でも一日中でも、お寺にいられるくらいお寺が好きです。せっかくなら日本人に生まれたのだから、この日本の歴史の集大成を味わわないなんてもったいない！

重々しい雰囲気があるよう
な気がするんです

実は僕は、お寺と神社どちらが好きかっていわれると、神社の方が好きなんですよね。中学生の頃から神社が好きで、日本に八百万いるといわれる神様に基づく神話がとても面白いんです。神社検定も受けようと思ってるくらいです。そんな僕がお寺を語るというのも不思議な感じがしてしましますが、お寺は生活に欠かせない存在だと思っています。家には仏壇があり

ますし、お葬式はお寺に頼みますからね。一方、神社は自分から行くことと思わなければ、関わりはほとんどないと思います。その点は違いますよね。あと、僕に限らず、お寺に古風で静かな印象を持っている方が多いと思うのですが、和風的な感じはとも良いと思えます。でも、僕はなんとなく重々しい雰囲気があるような気がしてしまっています。それを良いという方ももちろんいらっしやると思いますがどうでしょう。

クリスマスチャンですが、お寺
は普通に行きますよ

私はお寺というものは、生まれた時から身近にあるものだと思うので、好きか嫌いかなんて考えたことはないですね。特別、お寺を意識したことがないです。

でも、たまに考えることはあります。初詣には神社に行くけど、お盆にはお墓参りでお寺にも行く、でも神社とお寺は宗教が違うと言われてもピンとこないな、って。私の中ではお寺は日本

文化というイメージが強いですね。宗教のイメージは薄くて日本文化・生活の一部というイメージですね。

私はクリスマスチャンで本当はお寺に行くのはあまり良くないらしいのですが、日本人なら行く機会はどうしてもあるし、行ったら礼儀としてその神様に失礼なことにはやらないようにしています。観光でお寺巡りだっただけでもありまますし。ただ私にとってお寺は生活に馴染みすぎているせいか、あってもなくても私の人生とは関わりのない存在だと思っちゃいますね。

その魅力を感じ取るには、
まだまだ勉強不足です

正直に言うと、僕にとつてのお寺というのは生活に関わるものであり、それ以上でもそれ以下でもないですね。おじいちゃんの命日には墓参りをするとか、年末は除夜の鐘をつきに行くとか、一年の間に言う行事には欠かせない存在だと思っています。ですがお寺そのものについては、その魅力を感じ取るにはまだまだ勉強不足です。けれども、奈良や京都には研修旅行

などで何度か訪れたことがあるので、有名なお寺は一通り見たことがあります。近所には無いような大きなお寺を見るにつけては、その荘厳な造りや、そこから伺える当時の仏教への信仰心の強さにいたく感じ入りましたし、観光客の少ない静かな境内で一人立っている、なんだか心が洗われるような気がしました。

はつきりとわかったわけではありませんが、お寺の魅力というのはこういうところにあるような気がします。

人の生き死にがある以上 永遠につながって行く



そもそもお寺ってなんのためにあるのでしょうか？

お寺ってほとんど多くの人々が訪れたことがある場所ですよ。でもその起源や歴史のことは意外と知りません。お寺のはじまりは？人とお寺はどのように関わり合っているの？お寺に詳しい芸術学専門の大宮先生に聞く、お寺のそもそも論。

そもそも日本は仏教の国ではなかった

——大宮先生、早速ですがお寺が生まれた経緯について教えてください。

それならば、まず仏教の起源について話しましょう。日本がそもそも仏教の国ではなかったということは知っていますか？

——はい、神道の国だったんですよ。そうですね。仏教が日本に伝わる六世紀前半まで、日本では神道といって、山や川など自然に宿る八百万の神様を祀っていました。それまで神道一筋だった日本が仏教を取り入れようと思つた理由はいくつか考えられます。まず仏教の発祥はインド、日本に伝来させたのは朝鮮ですが、それら海外の文化技術を取り入れるためだと思われまふ。他にも仏教を信じることで、他の仏教国家との外交を円滑にしたかったとも考えられます。

ただ、仏教導入の際には、神道を厚く信じる保守派との戦いは避けられませんでした。皆さんも聞いたことがある人ですと、物部氏や中臣氏がそうでした。対して仏教導入を進めていたのは蘇我氏です。両者の間の長きにわたる戦争の結果、ついに仏教勢力が勝利

行らないのではないですか。

はい、仏教が伝わった当初はそのように考えられていて、流行つたのは貴族の間だけでした。しかし浄土宗や浄土真宗のような、ひたすら念仏を唱えることによつて救われるという緩やかな宗派も現れ始めると、一気に市民の間に広まりました。また、鎌倉時代の武士の間で広まった禅宗は、もつぱら座禅を修行することで、自らのメンタリティーの本源を悟ろうとする宗門ですが、生きるか死ぬかの狭間に置かれた武士の精神状態を保つためにも、必要不可欠なものだったようです。常に死と隣り合わせの生活なんて現代では考えられないことですが、当時の武士たちは、死と隣り合わせの生活が当たり前だったんです。そういう極限状態の中では、宗教は人々にとつて非常に近い存在だったのだらうと思います。

——時間の流れによつて、さまざまな宗派が生まれていったのです。宗派によつてお寺の建築様式に違いがあったりするのでしょうか。

をおさめ、蘇我氏や聖徳太子を中心に仏教の導入が進められました。

——では反対に神道のほうは廃れてしまったと？

そんなことはありませんよ。今だってたくさんのお社が残っているんですよ。なぜかといえば日本では、八百万の神様も仏様と同じ神様ということ、二つとも残していることと決めたんです。「神仏習合」といいます。この「神仏習合」という考え方は、当時の世界では異例だったようで、こういう考え方をしている日本人は、良い意味でいえば、おほかたというか、器が大きいですよ。明治期には天皇制の象徴であ

る神道を国家宗教とするために、神仏分離令といつて二つを別々にしようという号令も出たのですが、お寺と神社の建築様式が似通っていることからも、神仏習合の名残は今でも見取れますね。

——なるほど、廃れたわけではなくて、両方が今も思っているんですね。では海外から入ってきた仏教が日本でも広まったのはなぜなのでしょう。

では、人々がなぜ仏教を信仰するかというところから話しましょう。それは信仰することで、現世利益がもたらされると考えていたからです。

——現世利益とは？

例えば、みなさんも大学受験の前には一度はお賽銭を投げに行つたことがあるでしょう。大学に受かるかどうかというような、将来の結果がはっきり定まっていけないもの。それを良い結果に運んでくれるのが現世利益です。この考え方で言えば、死後の世界に天国と地獄、どちらにいけるのかも現世利益によつて決まります。その現世利益を最も欲していたものが何かといえば、想像できますか。

——国、でしょうか。

そのとおりです。鎮護国家思想といつて、天災が起こりませんように、戦争で勝つますように、ひいては国家が安泰しますようにと、国家は莫大な財を用いて、寺や仏像の建立に力を尽きました。仏像についていえば、大きければ大きいほど現世利益がもたらされると考えたのが奈良の大仏、数が多ければ良いと考えたのが三十三間堂です。

——しかし莫大な財がなければ現世利益が得られないとなると、市民には流



「現世利益」がもたらされる



甘党？ いえ、僕らは「寺党」です。 寺党の思うお寺の魅力とは？

「寺党」とは、お寺をこよなく愛する人のこと。
女子大生からお寺が趣味な大学の先生からチェコ出身の留学生まで。彼らはお寺に
どのような思いを抱いているのか？ 彼らの語るお寺愛。聞いてみましょう。

吉田 美音子さん (静岡文化芸術大学1年)

お寺に行くとか自分の精神の何もかもが、あるべきところに収まっ
ていく感覚になるんです。私は中学2年生の時、福井県にある曹
洞宗の永平寺でお経を書き写す「写経」をしたのですが、静かな
空間で一つの書に向かうことは、アイデンティティーが確立され
ていくようなかつてない体験でした。地元石川県の土地柄がお寺
や仏教が盛んなこともあってか、「夏はアイスが食べたい、冬は
こたつが恋しい」というのと同じくらい私にとっては必要不可欠。
地元に戻ったら真っ先に永平寺に行きたい！

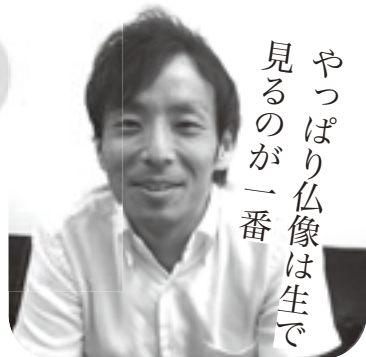


ラデック・スハーツさん (静岡大学留学生 チェコ出身)

私は日本の文化や宗教に興味があり、静岡大学で日本のことを学
んでいます。私がお寺を好きな理由は、自然に囲まれてリラックス
できる異世界の様な空間で、自分のことをじっくりと考えること
ができるからです。また、お寺は日本の歴史や宗教、経済など
の影響を受けているので、私にいろいろなことを教えてくれます。
だから私にとってお寺とは、「学者」のような存在ですね。ちな
みに、静岡県でおすすめのお寺は、浜松市にある龍潭寺です。景
色がとても良く見えて、立派な仏像もあります。

小倉 将志郎先生 (静岡大学人文社会科学部経済学科)

僕はお寺も好きですが、中でも特に仏像を見に行くのを目的
てにお寺に行きます。なぜ見たいのかと言うと歴史の追体験がで
きるからです。仏像は歴史上の人物も見てきたり、拝んだりして
きたものです。それを現代でも味わえることはとてもエネルギー
を感じます。そして実際に生で見た仏像を、後で調べていくとス
トーリーなどを知っていくことができ、また見に行きたくなります。
いろんな楽しみ方があると思いますが、僕は一人で行って仏
像一体につき10分くらい真剣に向き合っていたいです。



人の生き死には永遠に関わる問 題。いつまでもつながつている。

和様と禅宗様に分類できません。鎌倉
時代以前にできた寺の建築様式はみん
な和様です。和様といっても、建築様
式自体は中国からもたらされたもの
で、それが国風文化の発祥となる平安
時代に日本人好みのものへ変化して
いったという経緯があります。法隆寺
や平等院鳳凰堂のような有名なお寺も
この建築様式ですね。

対して禅宗様は、禅宗が流行りはじ
めた鎌倉時代以降に生まれた建築様式
です。和様と対比した特徴としては、
和様と比べると、寺の外観より、室内
の機能性を重視して建築されていま
す。これはお寺に対する人々の考え方
の変化に影響されたものだと思いま
す。平安時代までは、お寺は外から
眺めるだけのものであって、神聖な場
である室内へ入ってはいけないと思え
られていたため、室内にそれほど気を
遣う必要はありませんでした。しかし
鎌倉時代になるにつれ、仏様と同じく
らしい、人のことも考えたお寺にしよう
という気風が変わり、それが室内の機

能性も考慮した禅宗様を生み出したの
だと思えます。
——宗派の違いではなく、時代による
人々の考え方が、様々な建築様式を生
み出していったのですね。

そういうことになりましたね。それに
お寺の中には、自分の宗派を変えようと
ころもあつたみたいです。昔で言えば、
その地域の権力者や武将、現在で言え
ば檀家さんなど、そのお寺を支えてい
る人々の影響によって、宗派変えが行
われる場合があるようです。国の補助
金だけで管理ができるお寺はほんの一
握りですからね。ほとんどのお寺は内
観や外観の維持やお宝の保護などに
かかる莫大な費用を自力でまかなうこ
とができなかったため、そういった人々
から支援を受けていました。ですから
お寺を支える人々の影響によって宗派
が変わることもあるみたいです。

——なるほど。では最後に、私は今
お寺と人との関わりが薄い時代である
と思っています。これからのお寺と私
たちの関係は、どうなっていくので

しょうか。

現代のお寺の大きな役割は、なんと
いっても葬式ですよ。ただ葬式の形
も、マンション形式の納骨など、より
経済的・形式的なものへと変化してい
ます。ですが人の生き死にというのは
永遠に関わってくるものだから、関
わりが薄くなっても、いつまでもつな
がつていると思いますよ。

——今日のお話で、お寺の知見が深ま
ると同時に、今まで以上ににお寺への興
味がわきました。

それでしたらぜひ一度、私イチオシ
のお寺スポットへ足を運んでみては。
県内ですと、伊豆の国市の願成就院や、
仏の里美術館がおすすめです。
(取材・文/野村和輝)

大宮 康男先生

静岡大学 教育学部 美術科教授。専門は美術史・芸術
学。屋根を見ただけでどこのお寺か分かってしまうほ
どの、お寺の専門家でもあります。仏像についても詳
しく、静岡は良い仏像が沢山あるのだそう。

■このお話をもっと深く掘り下げたいひとへ大宮康
男先生からのオススメ本！

『静岡の仏像巡り—ほとけ道 里あるき』大塚幹也
山本直 松浦澄江著・静岡新聞社・2005。

お寺のキラークンテンツ？ それはもちろんです……

特集
おてらいくおてらいく

「仏像」でしよう



静岡仏女さんに聞く、仏像の魅力とは？

お寺を知る上で欠かせないお寺の三宝、「仏」。具体的には仏像を指すけれど、どれも同じに見えてしまう。その違いって？ お寺を仏像から見たら、どんな見え方をするんだろう？ 仏像大好き静岡仏女こと望月さんに伺いました。

静岡仏女さんは仏像が大好き。その魅力とは。

——望月さんは、静岡のお寺巡りをされているようですが、そもそもものきっかけは何だったのでしょうか？

元々歴史が好きで、京都の大学では歴史を勉強していたんです。仏像に対しては少し興味がある程度だったんですけど、大学卒業後、静岡に帰ってきて、静岡にもたくさん素敵なお寺があることを知ったのがきっかけです。お寺巡りを重ねるにつれて、静岡にも京都に負けないくらい深い歴史があることがわかってきて、魅力を感じました。あとは、静岡の仏像の本を見つけたのもきっかけですね。

——はじめは歴史がきっかけだったんですね。今ではお寺巡りのメインは「仏像」とお聞きしていますが、その変化について教えてください。

もともと仏像に興味があったというのもそうだし、実際に静岡でお寺巡りをしてみたら、本当に数えきれないくらい色々な仏像があつて、気が付いたら仏像に夢になっていました。数多くあるお寺の中から、やはり自分の興味をひく所をピックアップして見に行っていますが、拝観予約をしなけれ

より味わうことができますよね。

はい。そういった視点も大切ですね。でも一方で、単純に「この顔イケメン！」「綺麗！」という見方もありだと思えますし、芸術的な価値が仏像につくもつと前は、庶民が手を合わせ自分の祈りを捧げる存在でしたので、難しく考えなくてもいいんじゃないかなと思いますね。

——なるほど。そういうえば、「イケメン」の仏像のことを「イケ仏」と呼ぶそうですね。仏像によって、全然表情が違いますか、この違いは何なのでしょう？ また、望月さんの思うイケ仏も教えてください。

そうですね、やはり歴史や時代、地域によって全然違ってくると思います。先ほども少し触れたように、奈良時代に作られた仏像は、固い顔、怒つたような顔をしているものが多くて力強いんです。個人的には、はつきりしている顔、勢いのある顔が素敵で、イケメンだと思います。仏像ってその時代のかっこいい武士などがモデルに

なっていると思うんですね。伊豆にある北条時政が源頼朝が戦いに行くときに祈願して作った願成就院の毘沙門天像なんかは、躍動感もあるし胸板が厚くてがっしりしていて抱きつきたくなっちゃうんです（笑）。ちなみに、静岡には鎌倉時代の仏像が多いんですよ。特に伊豆は、源頼朝がいた関係もあって、長い歴史をもった仏像や面白い仏像がたくさんありますよ。

——抱きつきたくなるほどの仏像ですか。興味深いです。それぞれ優しさだったり、たくましさだったり特色が違うんですね。

そうですね。京都の仏像を「中央仏」、

それ以外のところにある仏像を「地方仏」と言うのですが、本当に静岡の仏像も引けを取らないと言いますか、中央仏に負けていないんですね。

——お寺巡りをする際、仏像の他に注目するところはありますか？
そうですね、鬼瓦とか見ますね。あと、扉の装飾や彫り物をよく見ます。また、これは道徳的なことになってしまっているんですけど、お寺や仏像って町内会の人を守っていることが多いんですよ。そういった方々の優しさに触れることも魅力だと思っています。聞いてないことまでお話ししてくれたり、「お茶飲んで行きなよ」と声をかけて

ば入れないようなところもあるので、行く前は必ず下調べをしています。今は仏像好きな人も多いので、住職さんも理解してくれていて、仏像について説明していただけたらと思いますね。

——具体的に、仏像のどういったところが魅力なのでしょう？

やはり顔ですかね。作られた歴史によって、全然雰囲気が違うんですよ。奈良時代の仏像は固い顔をしているものが多く、平安時代は柔らかい顔をしているものが多いですね。あとは、手も見ますね。ポーズによって表している意味が違っているんです。例えば、手を胸の前へ上げ、掌を正面に向けたポーズは、人々の恐れを取り除く事を表わしています。ポーズの意味もそうですけど、「この仏像はこういった意味で作られたんだ」ということを知ったうえで見るのは、知らないで見るよりも迫力があつて面白いですよ。

——確かに、ただ単に見るよりも、その仏像のつくられた背景や意味など、情報を得た上で見た方が、その仏像を

芸術的な価値がつく前は、庶民が自分の祈りを捧げる、身近な存在



え？血の天井？ ボーン・イン・静岡……



特集 おてらいくおてらいく

巨龍山清見興国禅寺を歩きましょう。

とはいえ、どうしてもお寺といったら京都・奈良の印象が強いですよね。静岡のお寺ってどうなんだろう？ そう思いながらも興津の清見寺を訪れました。そこで私は何を感じ、何を想うのでしょうか。

どっぷりお寺パワーに ハマるべく、寺探訪。

「五百羅漢石像ってかわいいな……」
私はそう呟く編集長とお寺を訪ねることとなった。お寺企画を進める中で、「お寺」心が清められる」といった、編集長含めお寺好きの皆さんの思う「お寺パワー」を知ったわけだが、私には行かない、好きは好きだけど情熱はない、そんなお寺ビギナー大学生なのであった。もちろん「お寺パワー」を感じることはなく、感じられる人を羨ましいと思っていた。

私たちが訪れたのは清水区興津の清見寺（せいけんじ）。約千三百年もの歴史を持ち、有名な武将足利尊氏や徳川家康も可愛がり、室町時代には全国に数多く存在するお寺の中でのトップ10「五山十刹」にも入っていたという。予備知識の時点でひれ伏しそうになるくらい厚い歴史である。

清見寺なら、もしかすると私にお寺パワーを感じさせてくれるかもしれない。そんな安易な下心を持って臨んだ住職さんとお寺探訪。そこで見えてきたのは私のお寺感をあっさりと壊してくれた深い精神世界でした。

くだざつたり。本当に温かい人ばかりなんです。今だにそうやって知り合った人で文通をしている人とかもいますね。静岡時代31号に掲載されていた風林寺の平尾さんともfacebook友達です。やはり歴史が古いものや、この仏像は誰が作った、というのがしつかり分かっていていいのですが、そうではない仏像も多いですからね。そうなる地域の人たちが守っていくしかないんですね。

——静岡はそういった仏像が多いですか？

多いです。その上、面白い仏像もたくさんあるんですよ。静岡の街中にある迦葉館というビルの7階に新光明寺というお寺があるのですが、そのお寺は仏像だけが置いてあるんです。それに、まだ行ったことはないんですけど、葵区にある龍津寺には、頭に鳥居がついている仏像もあるんですよ。「なにこれ！面白い！」となりますね。あと、これは静岡の仏像ではないんですけど、奈良の東大寺には、五劫思惟阿弥陀如来坐像という、びつくりするほどアフロな仏像があるんです。見てみたくなりませんか？

——それは面白いですね。やはりそういうものを探すのも魅力ですか？



仏像は行く度に「違う顔」をしているんですよ

そうですね。仏像というよりも、なんだか、人を見る感じで楽しんでいきますね。「この人イケメンだな」って見るみたいにな（笑）。仏像好き仲間とよく話しますね。仏像は魅力たっぷりでしょう？ あと、仏像は一度ではなく時間を置いてまた同じところに行くというのもいいですよ。毎回違う顔をしているんです。まるでその時の自分を映しているかのように、同じ顔でいることはないんですよ。

——顔が違う？ どういうことですか？

例えば、忙しかったり、日々の生活に追われていて疲れていたりする時と、逆に何か困難を乗り越えてすっきりとした気持ちで行く時とは、仏像の顔も違って見えるんです。そんな気がしているだけなんですけどね。「前は強ばって見えたのに、今日はきりつとしているな」とか。なので、お寺へ行く際には、「今日はどんな顔を見せてくれるんだろう？」なんて思いながら行きますね。そういう意味で、自分

望月 純子さん

仏像をこよなく愛する仏女。ブログにて仏像巡りの記事やお寺情報を発信。最近では、仏像をモチーフとしたブツリョーシカも制作している。「仏像が好き！ 静岡仏女ブログ」<http://butsujiyo.eshizuoka.jp/>

■このお話をもっと深く掘り下げたいひとへ望月純子さんからのオススメ本！

『静岡の仏像巡り—ほとけ道 里あるき』(p.6 前掲)
『仏像の本』仏像ガール著・山と溪谷社・2008.

静岡には魅力的なお寺や仏像がまだまだたくさんあるので、是非とも実際に足を運んで、自分の目で見てみてください。

（取材・文／木下莉那）



帝国官立商船学校の練習船「月島丸」が明治33年に北海道室蘭へ出航し、駿河国清水を航行中、踪跡を失ってしまった。その慰霊画が保存されている。



参拝客の入口「庫裏」の二階からは興津の景色を一望できる。晴れた日は伊豆半島まで。埋め立て前は、すぐ目の前にまで駿河湾が広がっていたそうだ。



正治二年、梶原景時が鎌倉を出奔し西国に赴く途中、清見関で一戦を交える。天井は戦いの痕が残った清見関の古材を利用しており、「血天井」といわれる。



大方丈にある金色の垂れ幕「法幡(ほうばん)」。かつてお坊さんのお説教があるとき、外から見えるように下げ、人々はお寺に集った。



清見寺の敷地内を横切る東海道本線。踏切を越えた先は境内。興津が今も交通の要所であることを体現している。



芭蕉の俳句が石橋に彫られており、水面に句が映るよう裏に彫られている。家康が駿府城より移した「牛石」「亀石」「虎石」は、それぞれ「辛抱強くゆったりとした気持ちを持つこと」「志をもって生きていくうえで体が資本であること」「聖者を見分けるような眼をもつこと」という教訓を示す。



一つ一つ顔の異なる作者不明の石像が無数に置かれた「五百羅漢石像」。作家島崎藤村もここを訪れ、自身の作品(『桜の実の熟する時』)に描いた。



通常、立ち入り禁止の「仏殿」には家康の娘が奉安した釈迦如来の坐像が安置されている。仏殿の外からも拝むことができる。



元々清見寺は奈良時代に関所を守るために仏を奉った関所のお寺。写真の欄間装飾は、当時の関所の門のかんぬきが再利用されている。



壁一面に書かれた観音経という長いお経。江戸時代に修行僧が書いたと言われているが作者は不明。壁の修復はせず今も残されている。



自然溢れる境内(右)。清見寺では、毎年10月頃に「寺おこし」を目指し、夜間ライトアップイベントも行っている。

踏み入れた先は、深い精神世界でした

JR興津駅を歩くこと15分、通りが開けたと思うと突如として清見寺が現れた。編集部三人(女子)一同「きゃー かつこいいい！」と思わず場違いな歓声をあげてしまうほどの堂々たるそびえっぷりである。緑生い茂る山をバックに、漆黒の建物が重々しい雰囲気でも密集している。お寺はもつとこじんまりしたものじゃなかったのか。そしてお寺の敷地内を私たちが乗ってきたJR東海道本線が淡々と横切っている。

その大音量の路線音は静けさとは無縁である。私のお寺感はずっとばなから「待った」をかけられてしまったのだ。境内に一步入ると、それまで興奮していた私達も本堂の厳かな雰囲気ですっかり飲み込まれてしまった。みずみずしい自然と真つ白な石畳と巨大な鐘。思わず口調も歩調も丁寧にしたくなる。

私たちを迎えてくださったのは二十四代目住職の一條文昭さん。一條さんのありがたいガイド付きで、いざ、お寺探訪のはじまりです。参拝客の入口「庫裏」二階からは、駿河湾や伊豆の山々が一望できる。静



「せっかくなら庭園含め開々まで見てほしい」と話す一條さん。

全てのものに欠かさず仏教的な祈りが込められている

けさを存分に醸し出すお寺とすぐ下を走る電車の音のコントラストは、中から見てみると意外にもクセになるくらい感だ。そもそも清見寺は、奈良時代にこの地に設けられた関所「清見関」の安全祈願として仏堂が建てられたのがルーツなのだという。路線に挟まれ車道が前を通る清見寺は、今でも私たちの交通安全を願ってくれているような気がした。路線音を聞きながら

爽やかな風に吹かれ物思いに耽っていると、思わず畳に寝転んでしまいたくなる。「取材中にこんなにリラックスしてしまっているのだろうか私。……これが噂のお寺パワーか？」そう感じ始めた私は、次に清見寺敷地内の中心に位置する「大方丈」へ。そこに現れたのは真つ赤な絨毯と金色に輝く装飾。お寺がこんなにハデだったとは！心静めかけていた私としてははつきり

長も「可愛い」とお気に入りの「五百羅漢石像」がある。一つ一つ顔の違う羅漢像が無数に置かれる様は少々恐ろしいが、なぜだか親しみやすさを感じて顔がほころんでしまう。これも訪れた人にこの中から自分が慕った亡き人に似た羅漢像を見つけて欲しいという思いが込められているという。

お寺は「誰かを想う誰か」のためのもの

どんな装飾にも欠かさず仏教的祈りが込められている。そんなただ見るだけじゃ分からない奥深さに圧倒されればなしの私。ついに入場禁止の「仏殿」に特別に案内された。驚いた。入ることを躊躇してしまいそうなほどの重々しさで仏殿が統一されている。今までの「参拝客の集いの場」的開放感はどこへ行ってしまったのか。そして、正面に高く置かれた釈迦如来像を前にし、私は思わず言葉

を失ってしまった。決して大きいとは言えないこの坐像だが長い年月、多くの武将や民衆に崇め奉られたというその歴史の深さとエネルギーが、重たいくらい強く伝わってくるのである。あんなに響いていた電車の音はもう気にならなくなっていた。この釈迦如来は家康の娘が奉安したもので、仏殿にはその他清見寺の発展に貢献した三名の開山さんの坐像が置かれ、またかつては足利尊氏の木像が置かれていたという。清見寺のパワーは、歴史と数々の祈りが集約されたこの仏殿から静かに、厳かに流れ出ている気がした。

私たちが楽しむ何千年も前から、お寺は「弔う」という本来の使命を変わらさず全うし続けていたのだ。思い起こせば「血天井」も「五百羅漢石像」も、見てきたもの全てに仏教の意味が込められていたのではないか。お寺の根底には「人の生死」がある。それはなによりも忘れてはいけないことなんじゃないだろうか。「これからも多くの人が訪れ可愛がってくれる歴史あるお寺でありたいですね」と一條さんは語ってくれた。一條さんと合掌を交わし清見寺を後にした帰り道、「庫裏」にあった「洗心」の文字が刻まれた額を思い出した。近いうちにまた、祖父似の羅漢像に会いに行こう。(取材・文/榎田那美紀)

死者を弔い、残された人も心の平安が得られる場所

死者を弔い、お経の間こえる場所であらかに眠って欲しい、という宗教的な確固たる所以がある。そして一歩外に出た大玄関の裏側には、編集

開放感はどこへ行ってしまったのか。そして、正面に高く置かれた釈迦如来像を前にし、私は思わず言葉



一條 文昭さん

清見寺 二十四代目住職。15年前、京都で修行していた頃に師匠から清見寺の住職の紹介を受けて、10年前に住職になったのだそう。清見寺：静岡市清水区興津清見寺町 418-1

■このお話をもっと深く掘り下げたいひとへ—一條文昭さんからのオススメ本！『巨龜山清見興國禪寺の歴史』市毛弘子著・新人物往来社、1974。

私がお寺が好きな理由

天野和佳子（本誌編集長／静岡大学4年）

私がお寺が大好きな大学生です。最近の私の悩みは、私のお寺愛に心から賛同してくれる友人が、あまりいないこと。「お寺っていいよね？自分自身が清められる気がして落ち着くし」、ここまではおおよその友人に賛同してもらえます。しかし、「お寺パワーが足りない！お寺の写真集を見ているだけじゃ物足りない！お寺に行かなきゃ！」、ここからは私の友人は賛同してくれません。「そんなに好きなんだ、すごいね」と遠い目で私を見る友人の反応に私は少し寂しい気持ちになります。

そもそも私がお寺を好きになったのは、小学校の修学旅行で、京都・奈良に行った時に、歴史ある数々のお寺を巡ったことがきっかけです。私が生まれる何百年、何千年も前からその場所にどっしりと構えるお寺の迫力、静寂を保ちながら美しさに味があるお寺のお庭。日本にはこんなに素晴らしい空間があったのかと驚き、お寺に感化されたのです。私の心の中からお寺愛という感情が湧いてきた瞬間でした。私はこうしてお寺にどんどんハマっていきました。小学校から高校までの頃の私は、頻繁に京都・奈良にお寺を見に行くお金がなかったために、猛勉強をしてテストで上位を取り、

母にお寺の写真集をねだったりとか、お寺特集本が当たるといってお菓子のパッケージを見つけては、ひたすらそのお菓子を買い続けてお寺特集本を手に入れたりとか、自分なりの方法でお寺愛をはぐくんできました。そして大学生になり、アルバイトを始め、自分のお金で自由にお寺を見に行けるようになる、長期休みがある度に京都へ行くようになりました。お寺は、訪れた季節、天候、自分の心情によって、毎回違う一面を私に魅せてくれて、そして私に幸福感、安静感、時には悲壮感なども味わわせてくれる、だから何回行っても飽きないし、むしろ行くたびにお寺にハマっていくんです。ああ、このように考えただけ、どんどんお寺に行きたくなってしまいました。

ですが、最近ある人に言われたんです。「神社はどっなの？」と。私は「もちろん神社も好きです」と答えたものの、気づきなくなかったことに気づいてしまいました。それは、私は神社に対して割とお寺と同じ感情を抱いているということだと思います。もっと言えば、城も好きだし、教会も好き。要するに私は、古くからずっと同じ場所にあつて歴史を感じられる空間、昔の

人の想いがつまっていてエネルギーをもらえる空間が好きなのです。だから宗教に関係なく、神社や城や教会などにも情熱を抱いてしまふのです。あれ？じゃあ私の中で確立されていたお寺愛ってなんだっただ？これでは、「お寺愛じゃなくなつて、神社愛だっというじゃん、ブレてるじゃん！お寺愛ってその程度？」なんて指摘をされても反論できる自信がありません。けれども、なんだかんだ言つて、私が一番愛しているのはお寺なんです！私にとって神社や城、教会の存在は、お寺と同じように、訪れればとても気持ちが高ぶるし、パワーをもらえる存在ですが、必要不可欠な存在というわけではないんです。でもお寺だけは、定期的に訪れないと、「お寺行かなきゃ！」という焦燥感に駆られるくらい、私にとって必要不可欠な存在なんです。なぜ私にとってこんなにもお寺が特別な存在なのかは、うまく説明できません。でも、きつとこれってまだ私の知らない、私がお寺に惹かれている理由、お寺の魅力があるからなのかなって思っています。私がお寺が好きな理由。その深層を探るべく、もっともっとお寺について探究心を持たなければ、と私は嬉しい焦りを感じました。

美と文化の伝道師
立田先生の「眼鏡」を拝借！

特集

おてらいくおてらいふ



ちょっと賢い！？お寺の味わい方

お寺の外装や雰囲気などの表面的な部分しか見ていなかったけど、お寺って私のまだ知らない奥深さもぎつとあると思うんです。だから一歩踏み込んだ味わい方を知れば、お寺の見方が変わるかもしれない。美術史専門の立田先生に伺いました。先生の「眼」からはお寺はどう見えるの？

寺は学問の故里。大学の
のはじまりでもある。

——私がお寺の醸し出す雰囲気が好きなんですけれど、それだけではない、ちょっと賢いお寺の味わい方を教えてください。

まず、寺を学問の故里と捉えてみたらどうか。日本での大学のはじまりは寺院に設けられた学問所だったんだよ。西洋史だとイタリヤに大学がつくられたのが始まりなんだけど、実はそれよりも前に学問所はできている。昔だと留学に行く身分はお坊さんが多かったんだよ。また、寺は文化の原点でもある。わかりやすい例を挙げると、日本の食文化で精進料理があるでしょう？これはほとんど植物だけを使うんだけど、そこから肉の味を出したりする不思議な料理なんだ。仏教の教えにある無駄な殺生を好まないというものに準じて作られたんだよね。世界でも注目されていて、フランスの一流シェフもわざわざ日本まで食べに来るほどなんだ。そして、お坊さんの生活は今でも夜の9〜10時に寝て、朝4時には起きるサイクルなんだよ。曹洞宗の大本山の永平寺だと、どんなことがあっても10時には就寝して3時20分に



今回の取材の為に10枚にも及ぶレジュメを用意していただきました。「この話をすると長くなるんだけどね」と話す先生の知識量には感服です。

は起床しているらしい。起きるとすぐに掃除をし、心身を鍛えた後に一汁二菜または一汁三菜のご飯を食べるという昔ながらの生活を続けているんだ。このように寺にはたくさん文化が根付いているから、色んな切り口で見ることができるとだよ。

——なるほど、学問の故里、文化の原点という点からお寺を観るとたくさん発見ができそうですね。とはいえず、お寺という「京都」「奈良」という印象が強いのですが……。

実は、静岡には「三山」と呼ばれる場所があるんだよ。この三山は全国にあるんだけど、三山があるところは文化地域とされているんだ。袋井市にある「遠州三山」が静岡を代表する寺と言えようね。

まず、法多山尊永寺。これは高野山真言宗の別格本山で、歴史のある寺なんだ。ここは厄除け観音がよく知られているね。寺の言い伝えによると、725年に聖武天皇の命で観音様が降りてくる聖地を探し求めた行基という人物が建立したらしい。行基は日本史では当時の文化を形づくったとても重要な人物各地に伝説が残っているんだよ。実は、静岡には行基に関連する寺がたくさんあるから、そこに絞って

寺には多くの文化が根付いているから切り口も豊富で面白い

寺を巡ってみるというのもひとつの切り口といえるね。

次に医王山油山寺。この寺も行基によって701年に創建されたと言われている。油山寺って珍しい名前でしょ？これは行基が山から油が出てくるのを見たことが由来なんだよ。油だから石油かもしれないけど、もしかしら温泉かもしれないとも言われているよ。それに、油山寺には「りの滝」にまつわる言い伝えもある。749年に孝謙天皇が眼病治療を願って、この滝で眼を洗浄したところ、全快したそうなんだ。このエピソードから目の守護眼病平癒の寺として有名なんだよ。

三つ目は、萬松山可睡斎。この寺の名前の由来はとも興味深くてね。徳川家康が幼い頃、武田信玄の軍から逃れ、父と共に匿われた寺なんだ。後に家康がお礼の為に寺を訪れたとき、居眠りする和尚を見て、「和尚我見ること愛児の如し。故に安心して眠る。我その親密の嬢を喜ぶ、和尚、眠るべし」と言ったと言われている。それ以降、

和尚は「可睡和尚」と呼ばれ、寺の名前も東陽軒から可睡斎になったそうなんだ。面白いでしょ？宿坊や精進料理もあるから泊まってみるといいよ。

——遠州三山の存在を初めて知りました。エピソードも面白いものばかりですね。

静岡には興味深い寺がたくさんあるからね。他にも島田市にある智満寺は奈良時代につくられた寺なんだけど、源頼朝をはじめ、今川氏、徳川氏などに厚く保護されてきたんだ。本堂は立派な茅葺屋根で、京都の高台寺に代表されるような桃山文化の影響をみとれる。堂内には、秘仏の本尊千手観音立像があるんだ。これは六十年に一度、御開帳されていて、次は2054年に見れる。実はこの六十年という期間も珍しくてね。普通は三十三年、五十年、百年といったサイクルが多いんだよ。私の考えではあるんだけど、智満寺の六十年というのは中国から入ってきた五行説の「還暦」から来ているんじゃないかと思うんだ。あと、毎年1月7



「切り口を設け焦点が合ってくるとお寺をより味わえる。どうだい？お寺に行ってみたくなっただろう？」と立田先生。

日の夜には、四百年以上の歴史を持つ、鬼払いという行事が行われている。これは、赤、白、青の三匹の鬼が暗闇から現れ、それらを読経によって退治することで、一年間の無病息災を祈るんだ。とても寒いだろうけど、行ってみるといいよ。

あとは日本付近にある鉄舟寺。今まさに話題の富士山や三保の松原、清水港などの眺望が素晴らしいんだ。エピソードも色々あってね。鉄舟寺の山号は、補陀落山。これは、仏教文化にとつて重要な「補陀落」から来ている。補陀落は、極楽を求めて、一人だけたり、集団だつたりで船に乗り海に出ること。大抵、難破して死んでしまうんだけどね。東洋や仏教文化を語るには欠かせないことだから調べてみると面白いと思うよ。

歴史的に見て重要な寺は、JR清水駅と興津駅の間にある清見寺。ここは江戸時代に徳川氏の保護を受け、朝鮮通信使や琉球使の接待の場として使われたんだ。駿河湾が見える非常に風光

明媚な場所にあるんだけど、接待に使われた他の寺も同じように景色が美しいんだよ。そして、鎖国している時も東海道が通っているここには通信使が来ていたんだ。出島でのみ、交易を行っていた時期にも朝鮮通信使とは交流があった、一回の通信使の訪問の為に百万両もの金額が使われたんだよ。

——静岡にも歴史がある魅力的なお寺がたくさんあるんですね。先生が思う奈良や京都のお寺と静岡のお寺の違いはどこでしょうか？

奈良や京都は、昔の政治の中心になった場所だから、寺のスケールが違うね。それに比べると静岡はもつと

ローカルな感じかな。歴史の長さを考えると、静岡に寺が出来始めたのは、聖武天皇の命で国分寺、国分尼寺がつけられた頃だから、奈良や京都にはかなわないよね。その国分寺、国分尼寺も駿河と遠江国につくられたんだけど、残念なことに、駿河はどこに寺があったのかわからなくなってしまうているんだ。今の静岡高校のある辺りか静岡大学の辺りだと言われているんだけどね。ただ、江戸時代になると、人や物が行き交う東海道が通っているということもあって、清見寺のように政治的に重要な寺もでてくるように

なったね。

——あなたが静岡のお寺の印象が変わりました。お寺から時代背景や文化、歴史、地域性を見つけ出していくことで味わい方も変わってくるんですね。

そうだね、最初にも言ったけど、寺は学問の故里だから、大学生である君たちには是非とも足を運んでもらいたい。それに寺から日本の歴史や文化を知ろうとする際に、一歩踏み込んで、他国と比較する、比較文化的な視点でも見るといいんじゃないかな。日本の教育だと世界史と日本史を別々に教えてしまうから、そういう視点で寺をみると、今までに吸収した知識もまた違つて見えてくると思うな。

(取材・文／須藤千尋)

焦点が合ってくると、今までに吸収した知識も違つて見えてくる

政治的に重要な寺もでてくるように

立田 洋司先生

静岡県立大学 国際関係学部 国際言語文化学科 特任教授。専門は比較文化、美術史、芸術学、オリエント学と幅広く、現在は県大が位置する谷田を文化の発信地とする活動「ムセイオン静岡」に携わっている。

■このお話をもっと深く掘り下げたいひとへ立田洋司先生からのオススメ本！『古寺巡礼』和辻哲郎著、岩波文庫、1979。『十一面観音巡礼』白洲正子著、講談社文芸文庫、1992。

静岡県庁と静岡時代が
 合同でFacebook ページを
 スタート！！
静岡未来
<http://www.facebook.com/shizuoka.mirai>

SC

スナップ・フロム・キャンパス
 *
 静岡シネ・ギャラリー副支配人
 川口澄生さんが大学生に聞きたいこと



静岡県庁から
お報せ

ふじっぴー通信!

昨年10月にオープンしたFacebook ページ「静岡未来」が祝一周年！
 静岡県の大学生に、静岡県の魅力を最大限にPR するべく、「ふじっぴー」が覚えておくと役に立つ県政情報をお知らせします。



公式ホームページから秋の祭典プログラムをチェック
 してみてください！「世界お茶まつり」で検索！
 HP: <http://www.ocha-festival.jp>

世界お茶まつり2013 『秋の祭典』開催

世界各国からお茶に関する「人」「もの」「情報」が集まるお茶の総合イベント「世界お茶まつり」。5月の「春の祭典」に引き続き、11月7日から10日まで静岡市のグランシップなどを会場に「秋の祭典」が開催されます。
 世界のお茶を見て、飲んで、買える「ワールドOCHAMesse」や「世界緑茶コンテスト」、茶の生産農家や文化施設などを訪ねる「茶の産業・文化交流ツアー」など、お茶の魅力を「茶の都しずおか」から世界に発信します。
 ぜひ会場にお越しいただき、お茶をもつと身近に感じてください。

静岡県イメージキャラクター 「ふじっぴー」グッズ発売!



グッズの種類や販売場所、「ふじっぴー」グッズに関する詳細は下記URLをご覧ください。
<http://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/ki-110/fujippi/>

富士山世界遺産登録を記念して、静岡県イメージキャラクター「ふじっぴー」の公式グッズがついに販売されました。
 販売されるのは、ぬいぐるみ(2,600円)、ピンバッジ(500円)、ストラップ(500円)、缶バッジ(210円)の4種類。
 販売場所は富士山静岡空港の売店や県庁東館の「喫茶びあ」、授産製品販売店「とも」(静岡店・沼津店)など。県外では東京と名古屋の静岡県観光案内所でも売っています。商品の売り上げの一部は、障害のある方の支援に役立てられるとのこと。ふじっぴーグッズを手に入れて、静岡県愛をもつとアピールしましょう。

PICK UP!

静岡県の楽しみ方発見情報サイト「しずふあん!!」から秋の人気記事を紹介!

- ☆「次郎柿の故郷でノックアウト！」 (ライター: まるちゃん)
- ☆「スポーツの秋! 話題の『ポッカール』を体験」 (ライター: KANA)
- ☆「今が見ごろ! 秋バラの香りにつつまれて」 (ライター: matsu)

他にも情報盛りだくさん! 詳しくは「しずふあん!!」で検索!



「ゆたかさ」って?

映画館。正直なところ、年に一作品見ることのないかの私にとってはあってもなくても同じような場所だった。「映画、観に行こう」と言う人に対しては「レンタルすればいいじゃん」とすら思っていた。しかし、友人から教えてもらったミニシアター。上映作品を見ると聞いたことがない題名ばかり。広告を見ても知らない俳優さんたちが顔を並べている。そこに私は特別感を抱いた。こんな場所知っている私ってなんだかお洒落じゃない? という感じ。そして「どんな話なんだろう、観てみたい」という感情がじわじわと湧いてきた。今回お話を伺った静岡シネ・ギャラリー副支配人の川口さんは「映画館に足を運ぶ人って、映画館に来るまでにいろんなドラマがあるんだよね。それを想像するのが楽しい。ロマンティックじゃない? (笑)」と仰っていた。映画館がこんなにも人間味に溢れているところなんて思っていなかった。川口さんとの会話の間も「誰をここに連れてきてあげようかな」という思いと共にいろいろな人の顔が浮かんだ。こんな気持ちにさせてくれる空間がある。これって、ゆたかな暮らしじゃないかな、私はそう思った。(小池麻友)

「静岡大学 静岡キャンパス」特集



1949年6月1日

旧制の静岡高等学校、静岡第一師範学校、静岡第二師範学校、静岡青年師範学校、浜松工業専門学校を統合して発足



お決まりの豊かな生活(合街)とは?
川口澄生

SC

スナップ・フロム・キャンパス
*
静岡シネ・ギャラリー副支配人
川口澄生さんが大学生に聞きたいこと



静岡 みらい ちゃん

静岡未来 って何? の巻

静岡時代編集部
です

静岡県の「いいね!」
って思うところを
聞いているんですけど



「いいね!」って
Facebookの?
そうそう
私らやってるの
静岡県庁と
コラボで

「いいね!」
するよ
「いいね!」
するよ
サンキュー

次 あの女の子たち
声かけようか
いいぞ
いいぞ
集まっている
学生の声
アイデアが!

つながってゆく
学生と県と地域が
そして学生同士も!

「いいぞ!」
「いいぞ!」

静岡県庁と
静岡時代の
コラボね
などんなだろうな
むむツ!!

それは「静岡未来」
という名の
Facebook
アカウント
県庁から
学生の皆さんに
雑誌「静岡時代」や
そのウェブ版と連動し

これは失礼
静岡県庁広報課
Nともうします
隠れてるつも
りで……
ふふ Nさん
わかってますよ
同時に
このアプリで
県の中枢と
大学生をダイレクトに
接続できる

いろいろな
お寄せをお届け
するために
大学生の便利情報
県内大学研究室などの
アカデミック最前線
もちろん
就職情報も!
あとなんか面白い
ことしてる学生とか
の情報も※

誰?
※大学学部学科が違うとなかなか知り合う機会がないけど、知り合えたら面白いと思う

大学生の知を結集して
静岡県の未来の青写真を作り
社会的な問題の解決をはかったり
実際に街を作っていくという
大きな計画
学生が自治体運営の
当事者となること自体も
県の最強の「広報」になる
「いいね!」して
いただければ
学生のアイデア
やプロジェクトが民間と
出会うことで面白いこと
も始まるかもだし※
おそのへん静岡
名前に似合わず
なかなかどうして
過激な県じゃ
ありませんか
「いいぞ」
ひとりひとは小さくても
県内学生みんなつながれば
すごい力になる……

※逆もまたしかり。学生同士もね



「大学生がたくさん来てくれたらいいな」と仰っていた川口さん。みなさん、足を運んでみてはいかが？

「LIVE感から生まれるもの」
僕は高校卒業後、「ゆたかさ」を求めて上京しました。「ないものがある」「選択肢がある」というのが当時の僕が考えるゆたかさでした。静岡で公開されている映画って日本で公開されている映画の三分の一程度なんですけど、見たいものが見れるっていうのは魅力的でした。学生時代は上映会を行ったり、地元で映画館を家族で営む方のお話に感化されたりして、最終的にはここ（静岡シネ・ギャラリー）しかないと思いついて、地元静岡に戻ってアルバイトとして働き始めました。また、働き続けるにつれて、気づいたら人と人とのつながりが自然とできていまし

た。最近の学生の風潮で、様々なものを駆使して絆やコネクションを「つくっていいこう」っていうのがあられるけれど、僕はつくっていくものではなくて、「できていく」ものだと思うんです。だから、そんなに力まなくてもいいんじゃないかな。静岡って、自転車をちよつと漕いだら海も山もあつて、色々な人と出会うことができる。きつかけは生の生活に溢れています。こんなにゆたかな場所だったなんて、東京から帰ってきて初めて知りました。ゆたかさってゆたかなところにいると気づきにくいんですよ。映画自体は複製芸術ですけど、映画館体験にはLIVE感があるんです。ここが皆さんのゆたかな暮らしの一部分を担う場所になっていけたらいいなと思っています。



静岡県庁 × 静岡時代 静岡の大学生の Facebookページ

静岡未来



<http://www.facebook.com/shizuoka.mirai>

Facebook ページ「静岡未来」は、静岡県を学生にお伝えするためのメディアとしてはじまりました。でも最近と同時に、大学生と静岡県庁がいっしょになって静岡県と静岡県の学びの社会を内外にPRしようという場所にもなって来ています。みなさんもやりたいこと、できることがあったら教えてください。あと、一度「静岡未来」を覗いてみてください。

取材を終えて

様々な回答がありますね。これからの大学生活も「ゆたかさ」に気付けるように過ごしていってほしいですね。

こんな答えが 出てきました。

本誌編集部 / 小池麻友 (静岡県立大学)

Daigaku-News

Daigaku-News

となりの大学生の、すごい「人・こと・もの」

夢を叶える学生団体 へプタリンクプロジェクト

あなたは最近「夢」という言葉を口にしたりだろうか？就職難が叫ばれる今、大学生の「夢」を応援する学生団体「へプタリンクプロジェクト」の活動が盛り上がりつつある。

「私、歌手のYUKIさんに会いたいです。自分には『企画してみんなを笑顔にしたい』という夢があったので、YUKIさんに協力して欲しいんです。そうまっすぐ語るのには運営メンバーであり一人目の挑戦者でもある常葉大三年の木下莉那さん。そもそもこのプロジェクトの仕組みは、六人の知り合いを介すと七人目には会いたい人誰とでも会えるという『スモールワールド現象説』を基にしている。学生の会いたい人に一番繋がりがあろうか？就職難が叫ばれる今、大学生の「夢」を応援する学生団体「へプタリンクプロジェクト」の活動が盛り上がりつつある。

人と会う。それを繰り返すことで、徐々に話す力や伝える力もつき、様々な立場の人に触れることは自分の夢やビジョンを描くきっかけになる。木下さんも今まで四人の企業関係者に会い、会いたい熱意を伝えてきたという。「自分の夢への自信のなさから上手く言葉に出来ないことも多くて、正直挫折も絶えません。でも、自分をプレゼンする」経験や普段会えない人との出会いはかけがえのない財産だと思っんです。そう明るく語る木下さんは苦労も逆手にとり楽しんでる。大きな夢へ近づき小さな一歩には、学生が自分自身を成長させるチャンスと、「夢」を持つためのヒントが無数に転がっているのだ。

企画も広報デザインも県内の学生運営メンバー主体で進めるこのプロジェクトのモットーは、運営メンバーも挑戦する学生もとにかく楽しむこと！「就活で疲れ切ったり将来に対して暗い気持ちになったりしている



それぞれ大学の違うメンバーが集まる。右から二番目は代表の水野圭さん（静岡大学四年）。

学生にもう一度「夢」を見て人と繋がる楽しさを思い出して欲しいんです。そのための苦労は単なる過程に過ぎないし全部楽しさに変わっちゃういますね。そう話す運営メンバーの県大四年の青木あかりさんからは、熱い思いが伝わってくる。挑戦者はもちろん、運営メンバーも募集中とのことなので、「夢はなに？」と聞かれて思いつかないあなた、この新しい波に飛び込んでワクワクしてみませんか。
HP : <http://www.Think-pro.com/>
(取材・文/檜田那美紀)

学生ボランティア団体 「うちうち」

東日本大震災が起こった時、「大学生である私には一体何ができるんだろう？」と考えた人も少なくはないはずだ。常葉大学（富士、浜松キャンパス）、静岡大学、静岡産業大学の10名程の学生が集まったボランティア団体「うちうち」は、非常時に備えて学生と地域との繋がりをつくるという目標の元、活動している。きっかけは、静岡県が毎年行なっている図上訓練。この訓練は、災害時にネットワークをどう機能させるかを話し



合うことや、ボランティアグループの関係を築くことが目的だ。2012年の訓練で出会った学生が繋がりを継続して今の「うちうち」に至る。現在では、青年会議所のブロック大会での討論や地域のボランティア活動に積極的に参加し、地域や大学生のネットワークを広げている。

代表の宇田哲也さん（静岡大学3年生）は、「災害に備えて日常から出来ることはあまりありません。そんな中出来ることは、普段から地域と学生の繋がりを持たせることだったんです。今、僕たちは平時から地域と学生が顔の見えるつながりを作るお手伝いをさせて頂いております。日常でのつながりは地域コミュニティの活性化と同時に、災害時に於いて大きな力になるのではないのでしょうか」と語ってくれた。この輪が少しずつでも広がっていくことで、災害に対する私たちの意識が変わってくるはずだ。（取材・文/須藤千尋）

静岡と山梨をむすぶ店 WINECAFFEE ROUTE 52

両替町の一角にあるカフェを営んでいるのは、静岡県立大学食品栄養科学部2年の山田瑞己さん。以前は飲食店でアルバイトをしていたが「大学とは違った楽しさがある」と思うようになり、学生時代に店を出す決意をしたそう。この夏から自分の店を持つこととなった山田さんは山梨県出身。「この店が山梨のアンテナショップになったらいいな」と話す。店名も静岡県と山梨県をつなぐ国道52号線に由来している。メニューに



は「ほうとう」や「信玄餅」といった山梨名物の名前が顔をそろえ、店一押しのワインは山田さんの同級生から仕入れてるそう。

現在の状況を伺うと「思い通りにいっているかと言えば、そんなことはない。でも、試行錯誤をして毎日が社会勉強になるのがとても楽しい」と満面の笑みで語ってくれた。将来は山梨県に2号店を構えて、静岡のアンテナショップとなるような店にする、という夢を持っているそう。「大学生」と「店長」という二足のわらじを履く山田さんからは様々な視点からのお話を伺うことができた。気さくな店長とお話をしていくうちに隣の山梨県の魅力に引きつけられるだろう。ぜひ、足をはさんでみてはいかがだろうか。
お店の情報はこまら → (<http://shizuoka.womoc.jp/gourmet/shop/index/ID/640>)
(取材・文/小池麻友)



そうだ、この駅で

今回の途中下車は？

沼津駅

取材・撮影・執筆：木下莉那（常葉大学）

取材・撮影：鈴木理那（静岡大学） 亀山春佳（静岡英和学院大学）

機関区
記念碑



心地よい潮風を浴び
られる場所、沼津

沼津は古来、東海道の陸路と海路を繋ぐ交通拠点でした。江戸時代には沼津城が築かれ東海道の宿場町として栄えるなど人・物・情報の交流拠点として、この地域の政治経済や商業、文化の中心的役割を担ってきました。
また、気候が温暖であることや、箱根や伊豆半島、富士山への観光拠点としても便利な立地条件であるため、保養

2 仲見世商店街

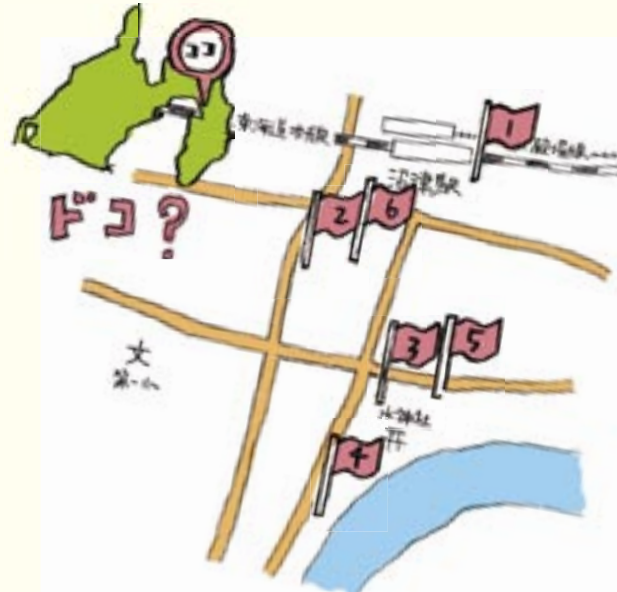
今もなお人で賑わう商店街。商店街の人が協力し、老舗から現代に合わせたお店まで揃えていることで様々な年代のお客さんが集まってくるそうです。昭和30年から続く和菓子屋さんでは外装も商品もほとんど当時のままです。お客さんもお年寄りの方が多く、店主さんと楽しそうにお話しながら買い物をしている光景はとても温かいものです。



人で賑わう！

地としても発達してきました。明治時代から1969年にわたっては、政財界の著名人が別荘を建て、皇室も沼津御用邸を構えたために、「海の有る軽井沢」とも称されてきました。

東海道本線は当時御殿場経由であり、経路に急勾配がありました。大阪方面からの鉄道車両はこの勾配を越えられる機関車に沼津駅で付け替えを行い、更に両数が多い場合は補助機関車を列車後部に追加連結する必要があります。



そのため、上り列車は沼津駅に必ず停車していました。この必要から操車場・整備施設はもとより、難所とされる峠越え線路の保守関係設備も発展し、これらの操車関連により必然的に停車時間が長引いてしまったそうです。しかしこの停車時間を使用して駅弁や土産などを買う人が多くなり、「沼津まではぬまず（飲まず）食わずで我慢しよう」という詞があるほど、沼津の観光産業にも影響を与えたそうです。

静岡→（東海道本線：63分）→沼津

浜松→（東海道本線：140分）→沼津

1 沼津駅



海からの心地よい潮風を感じる沼津駅。機関車の運用管理や整備等を行う場として日本の大動脈ともいえる東海道を支えています。当時は日本の中でも設備、技術ともに常に最先端を誇り、国内外の電化要員の養成・指導も行っていたそうです。そのため駅南口には、往年のC58形蒸気機関車の窯の正面部分と車輪が飾られています。

3 沼津城跡地



戦国時代、駿河に勢力をおく武田氏の拠点の一つが、現在の沼津駅南部にあった三枚橋城でした。そして安永6年、沼津藩が誕生した際に、初代藩主の水野忠友が廃城となっていた三枚橋城の跡地に築いた城が沼津城です。現在の沼津駅前から御成橋の手前まで広がっていましたが、明治維新後に廃城となりました。本丸があった中央公園に記念碑が建てられています。

こんなものを見つけました



見上げるとそこには大きな短冊！！（商店街）



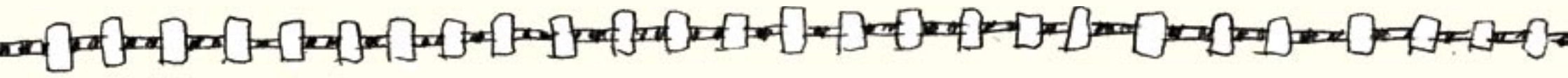
お団子と揚げ物が売っていてつい買い食い（桃屋）



沼津で中学時代を過ごした井上靖の文学碑（沼津駅前）



メニューは餃子とライスだけ。そしてこの行列。（中央亭）





中部エリア代表の学生団体は、静大ボランティアサークル響。企画から広報まで行います。本キャンペーンのお問い合わせ先は、静岡県赤十字血液センターまで。
HP: <http://www.shizuoka.bc.jrc.or.jp/index.php>

12月1日～25日は全国学生クリスマス 献血キャンペーン2013の期間です

静岡県赤十字血液センターが主催している全国一斉の献血キャンペーンが、12月に行われます。このキャンペーンでは、県内の東部・中部・西部に配置される学生団体を中心に献血の呼びかけをしています。昨年、中部エリアではバルーンアーティストや献血推進キャラクター「けんけつちゃん」との写真撮影を盛り込んだキャンペーンが行われ、みなさんに献血のご協力をしていただきました。冬場は風邪をひく人が多いことや寒さもあって献血者数が減少する傾向にあり、最近では10～20代の献血数も減少しています。今年の全国一斉キャンペーンを機に、みなさんのご協力をお願いします。

地域の産業・観光が一堂に会する 「産業フェアしずおか2013」

「産業フェアしずおか」は、静岡市の産業・産品が集まるツインメッセ静岡最大級のイベントです。地域の産業の振興・発展を図るべく、静岡市や近隣自治体、また様々な団体等の協力により開催されます。今までよく知らなかった地元特産品など地域に関わる多種多様なブースは、見て回るだけでも社会勉強になるはず。今年にはさらに、静岡市内にキャンパスのある大学を中心に、大学生が連携してブース出展をする試みもあり、会場を一層盛り上げます！今年の開催日は11月30日(土)、12月1日(日)。学祭も終わり一息つく頃、今度は街の一大イベントに出かけてみませんか？



開催日時は11月30日(土)9:30～17:00(オープニングセレモニー9:15～)、12月1日(日)9:30～16:00。入場料は無料。ツインメッセ静岡全館で開催されます！

浜松市が進める音楽のまちづくり 浜松市楽器博物館

音楽のまちづくりの一環として設立された浜松市楽器博物館は、日本唯一の公立の楽器博物館です。こちらの博物館では、「世界の楽器を偏りなく同じ目線で平等に展示する」というコンセプトのもと世界中の様々な楽器が収蔵されています。その数はなんと約3300点にもものほり、常時展示では1300点ほどの楽器と実際に会うことができます。また同博物館は展示品だけではなくイベント企画も充実。芸術の秋、皆さんも楽器そのものの魅力を再発見するとともに、楽器の歴史とその背景にある人々の文化に触れてみませんか？同時に「音楽のまち」浜松も改めて体感できること間違いなし。

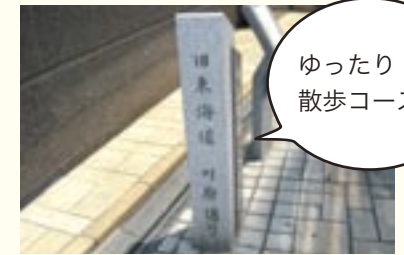


浜松市楽器博物館で収録されたCD NO.38の『イギリス・ソナタ』が芸術祭で大賞を受賞。その記念コンサートが11月12日(火)19時から行われます。詳しくはHP (<http://www.gakkihaku.jp/>) をチェック！



旧東海道川廊通

昭和30年代まであったとされる石畳をイメージして舗装整備された通りです。市街地と狩野川を結ぶ散策ルートとして旧東海道宿場町「沼津」の雰囲気現代に伝えていきます。江戸時代は宿場町、城下町として中心的な地域に位置していました。歩きやすく、市街地から入り狩野川に進むと沼津のシンボルとも言われる「御成橋」も見え、お散歩するにはもってこいです。



ゆったり散歩コース！



街歩きステーション

「日本一高い山と日本一深い湾に囲まれその両方を楽しめる」という、沼津の新しい楽しみ方を提供している「街歩きステーション」。県内はもちろん県外からの来訪者も多く、信号がなくて走りやすい狩野川、駿河湾、富士山の最高ピークコースと沼津グルメを満喫できると人気を集めています。「走る」と「観光」を組み合わせたスタイルはとても魅力的だと思います。



レストラン どんぐり

お店の中に小さな川の線路がある素敵なレストラン。入口で食券を買い、自分の好きな席へ。ここで面白いのがそれぞれの席に東海道線の駅名が書かれた札があることです。その札を桶に乗せてテーブルを挟み真ん中を流れる川に流すと、調理場に届くとというスタイル。料理も桶に乗ってきます。レトロな店内と流れる水の音で癒される素敵な時間を過ごせる場所です。



野口英世先生×1枚 で購入しました

今回のおみやげ
詳細はP.48!



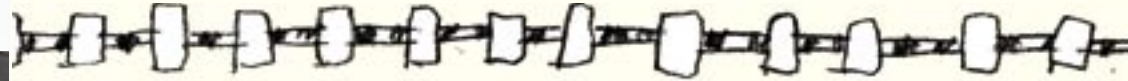
茶飴 (300円)
沼津にある創業明治5年「水口園」の茶飴！

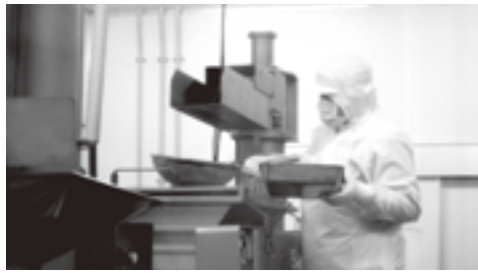


沼津名物乗せんべい (400円)
富士山世界遺産を祝して富士山型。



百葉のすぎやま (380円)
商店街にある駄菓子屋さんのイチオシ商品。





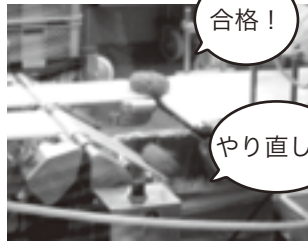
次に香辛料をまぶします。さわやかなハンバーグはお子様用以外はすべて香辛料だけが混ぜない牛肉100%のハンバーグです。



まずはかたまり肉をフレーク状にカットします。写真はカットされた肉が出てきているところ。



よく見るとチューブが通っており、ここからアルコールが噴射されてコンベアを清潔に保っています。安全性にこだわっていますね。



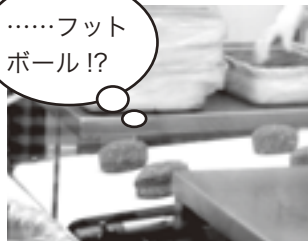
だまかな丸状にかたまりが整えられ重さによって仕分けられます。重さの差が5g以上あると、もう一度ミンチの中からやり直します。



ミンチにすることで、子供からお年寄りまで食べやすい食感にしています。げんこつハンバーグ(250g)はお年寄りにも大人気!



出来上がったハンバーグは金属探知機を通して、異物混入がないかを確認します。ここでも安全性へのこだわりが分かりますね。




最後に型に押されてフットボールのような形のげんこつハンバーグが出来上がります。赤みがかっています!



ハンバーグが一つ一つ丁寧にトレーに詰められていきます。その数、一日約一万個! その日のうちに県内28店舗に配送されます。

さわやかトリビア

「炭焼きハンバーグレストランさわやか」というお店の名前には創業者である富田重之社長の想いが込められています。「爽やか」の意味は「自然のいきいきとした状態」。ここから、お客さんに食事を通じていきいきと元気になってもらいたいという願いを店名に掲げたのです。また、さわやかのシンボルマークはよく見ると「爽」の字が違っています。「メ」を「人」に変えてしまうことで、人が集まって一番大きくなる、つまりみんなで地域一番店を創るという願いを込めたのです。



ハンバーグ社会見学

炭焼きレストランさわやか工場にやってきました!

取材・執筆 度會由貴 (静岡大学)
天野和佳子 (静岡大学) 澤田麻衣 (常葉大学)



工場の壁にはどどんと「さわやか」「げんこつハンバーグ」の看板が! いざ、工場内へ潜入です!

さわやかのおいしさの秘密に迫る!

炭焼きレストランさわやかは静岡県内に28店舗を構える、静岡に根付き多くの人に愛されているレストランです。「さわやか」という店名や「げんこつハンバーグ」「おにぎりハンバーグ」といったユニークな名前も印象に残るもので、多くの人が知っているのではないのでしょうか。今回さわやかなハンバーグのおいしさを探るべく静岡時代編集部が訪れたのは袋井市にある「さわやか本社工場」。実はさわやかなハンバーグのすべてがこの本社工場で作られ、毎日出荷されているのです!



解凍室で一日かけて肉を解凍します。水蒸気を使って解凍することで、肉の細胞を壊さずに鮮度を保ちながら解凍できるそうです。



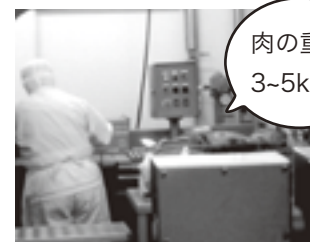
工場に運ばれた肉の箱には、バーコードが付いています。いつ、どの工場から来た、どの肉のかをすべて確認できます。



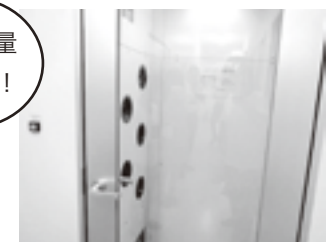
工場の案内をしてくださるのは商品部次長の神谷謙一郎さん。どこでどんな作業が行われているのか丁寧に説明してくださいました。



ちなみに、肉はオーストラリアで穀物肥育された牛の肉を使用しています。一頭から約10kgしか取れないのだそう。



大きな肉のかたまりが登場! かたまり肉を使用するのは、表面を殺菌することで、より安全なハンバーグにするためです。



ここはエアシャワー室。ここから先は生産者の方しか入れないようです。私たちはガラス越しにハンバーグを追いましょう!



古郡 康人先生
(静岡英和学院大学 教授)
のあしたの本棚

『山東京傳全集』/山東京伝
私は森鷗外の文学を研究しています。明治5年、当時10歳だった鷗外は島根から東京へ出て来て、貸本屋が持つてくる江戸時代の本を耽読します。その中に、読本という伝奇的な小説があり、「南総里見八犬伝」で有名な滝沢馬琴に鷗外は心酔していたようですが、後に鷗外は馬琴よりも京伝を愛読するようになります。私は鷗外の馬琴よりも京伝がいいと言った理由を、実感を持って知りたく思います。

『大原富枝全集』/大原富枝
この全集の内容見本には、そうそうたるメンバーが推薦の文章を寄せているのですが、その中の1人で私が学生時代に傾倒した吉本隆明氏が、どんな短い文章でもいいから全部読みたくなるのはこの人だ、と言っています。氏の代表作である『言語にとって美とはなにか』を学生時代に一夏かけて読んだのは、充実感を伴う私の懐かしい思い出です。自分が好きな吉本隆明氏が絶賛しているのだから是非全著作を読みたいと思いました。

『西園寺公と政局』/原田熊雄
明治政府で総理大臣などを務めて抜群の功績があった8名の元老の、最後の一人が西園寺公望でした。彼は10年近いフランス留学経験があり、リベラルな考えの持ち主でした。日本が太平洋戦争をするようになっていく様子・血まぎさくなつていく様子を公望がこれはこうだと言ったことを秘書であった原田熊雄に記録させたものです。政界の最高機密だったことが書いてあるので、読むのが楽しみです。私の恩師が読むのを楽しみにしていた本でもあります。



加茂 杏奈さん
(静岡大学 2年生)
のあしたの本棚

『大地のゲーム』/綿矢りさ
東日本大震災は、私たちに大きな衝撃を与えました。これは震災後に執筆された、震災に関する作品です。私は、作家さんたちが震災をどのようにとらえ、どのように伝えているのか、とても興味があります。しかし、まだ震災後文学というものを読んだことがないので、綿矢さんのような大衆向けの作家さんから入っていただけらと思います。もうすぐ教育実習が始まります。そこで、「人に伝える」ためのヒントをこの本から得たいです。

『鍵のない夢を見る』/辻村深月
辻村深月さんは、私のとても好きな作家です。辻村さんの作品は読みやすく、感情を揺り動かすような文章で、感動することが多いです。文学は堅いイメージを持たれていますが、辻村さんの作品は文学とエンターテインメントの間にあるような気がします。堅くはないけれど、とても深く、いろいろなものを見せてくれる感じがすごく好きです。ハードカバーにはなかなか手を出せなくて読んでないのですが、ぜひ読みたいです。

『つめたいよるに』/江國香織
江國さんの作品は、言葉や表現がとてもきれいです。特に短編集での表現はとても斬新で、たとえば、泣くことを「びょうびょうと泣く」と表現します。そのような独特な表現は耳に心地よく、音読をしたら、きつときれいに聞こえるだろうと思います。私が所属する演劇部では、部員が台本を書くことが多いです。そこで、観客に喜んでもらえるような、耳に心地よい表現をこの作品から学び、台本を書くときのヒントにしたいです。



あしたの本棚

読みたいけれど、ずっと読めずにいる本って、誰にでもあると思う。それが、「あしたの本棚」。まだ、知らない、でも知りたいとすごく思っているものの方に、何か大事な本質があるような気がする。

三輪 茂さん
(レコード店 CORNERSHOP 店主)
のあしたの本棚

『音楽機械論』/吉本隆明、坂本龍一
これは吉本さんと坂本さんの対談の本で、付録として、2人が共作した楽曲が収録されているソノシートという極薄のレコードが付いています。静岡市内の古本屋「壁と卵」で見つけて購入後、ソノシートは聴いたのですが、肝心の本はまだ読んでいません。僕が中学生の頃、YMOをよく聴いていて影響も受けたので、そういう意味でも、必ず読みたいと思います。また、最近では本に音源が付いているものをあまり見かけないので、それが少し寂しく感じますね。

『ベース・カルチャー レゲエ・ジャマイカン・ミュージック』/ロイドブラッドリー著、高橋瑞穂訳
この本にはジャマイカの音楽がレゲエというジャンルに至るまでの変遷が記されています。知り合いの同業者の方が、面白いと言っていたので買って見たのですが、なかなかボリュームがあってまだ読んでいないんですよ(笑)。レゲエは大学時代にハマって以来ずっと好きで、お店でも重要なジャンルとして扱っているのでも早く読みたいです。

『ラブ・ゼネレーション』/早川義夫
60年代のバンド・ジャックスのリーダーだった早川さんがソロ活動に移行してから音楽活動を一時休止するまでの期間に書かれたエッセイ集です。同じ早川さんの『たましいの場所』を読み終わったすぐ後に古本屋「水曜文庫」で偶然見つけて、思わず購入してしまいましたが、まだ読んでいません。この本も早く読みたいです。早川さんは今でもソロでライブをやっているそうなので、そちらも覗いてみたいです。



全国どの地域でも愛される味



「さわやか」が目指す
これからの「さわやか」

さわやかは現在、静岡県内だけで展開しているのですが、実は静岡にしか出せない理由と出さない理由の両方あるんです。まず、静岡にしか出せない理由としては、さわやかのすべてのハンバーグを袋井市の工場で製造して毎日チルドで配送しているため、安全面・費用面ともに静岡県内が今の限度であるということ。さわやかの素材を活かした味は全国どの地域でも愛される味だと思っていますが、やはりそのおいしさは安全性と鮮度にこだわっていることで実現できている味なので、他の地域に拡大したときに今と同じよ

さわやか株式会社
早川和良さん

営業本部次長。さわやかの工場から店舗のことまで様々な質問に丁寧に答えてくださいました。1の質問をすると10の答えが返ってくるようなお話から、さわやかに対する熱い想いが伝わってきました。
さわやか株式会社本社工場
住所：袋井市宇刈 137 番地
TEL：0538-49-5311

うにできるのかというところで店舗拡大には慎重になっていきます。また、社長の理念が「地域一番店をつくる」ことであるため、まずは静岡の人たちに認めてもらえるようなお店をつくることを一番考えています。今のさわやかは「地域を代表するハンバーグ屋さん」というイメージが強いと思います。実際「げんこつ・おにぎりハンバーグ」が全体の65%を占めていて、半数以上のお客様がそれを食べにさわやかに来店されています。でも、これからさわやかが生き残っていくためには「げんこつハンバーグのお店」だけではなくサービスの充実が必要不可欠です。従業員とお客様の距離がもっと縮まって、この人に会いに来るためにさわやかに来たといわれるようなお店にしていきたいですね。

私は地元の岐阜県から静岡県に来た時に初めてさわやかの存在を知ったのですが、これほど地域にこだわって、実際に「静岡」といえばさわやか」というイメージが定着しているお店はなかなかないと思います。

今回の取材を通して、徹底した安全管理や品質へのこだわり、そして静岡の一番店を目指すという真摯な姿勢がさわやかのおいしさの秘密なのではないかと思えました。静岡に根付き、人々から愛されるさわやかは、静岡県民にとって一つの文化とも言えるのではないのでしょうか。

【炭焼きレストランさわやか】
<http://www.genkotsu-hb.com/>







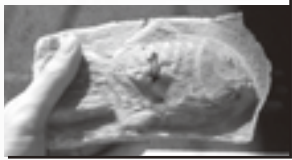





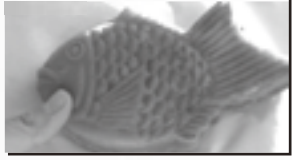


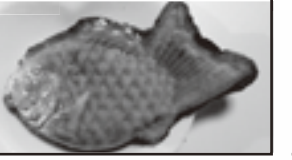

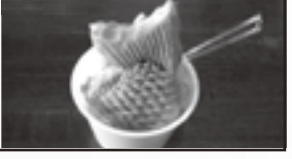



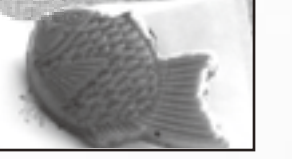
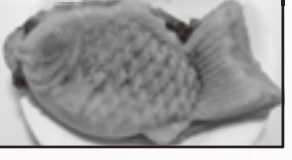


見学を終えて

取材：文/池野民基 鈴木理那(静岡大学) 漆畑友紀(静岡英和学院大学)

14日



甘い……
あまりにも

日	月	火	水	木	金	土
		1 スーパー Mom 小鹿店 あんこ (50円) 	2 たい夢 静岡バルシェ店 夏鯛こしあん (180円) 	3 焼津たいやき あおば つぶあん (120円) 	4 鯛吉家 白たい焼 (160円) 	5 たこ専浜松MAYONE店 抹茶 (150円) 
6 竹家 小倉 (120円) 	7 幸せの黄金鯛焼き 県美前 大納粒あん (130円) 	8 たこ専浜松MAYONE店 小倉 (120円) 	9 たこ専浜松MAYONE店 クリーム (120円) 	10 幸せの黄金鯛焼き 県美前 黄金あん (150円) 	11 鯛吉家 こしあん (120円) 	12 たい夢静岡バルシェ店 夏鯛こしあん (180円) 
13 幸せの黄金鯛焼き 県美前 大納言粒あん (130円) 	14 たい夢静岡バルシェ店 黒豆あん (150円) 	15 幸せの黄金鯛焼き 県美前 甘栗こしあん (150円) 	16 たい夢静岡バルシェ店 うふクリーム (120円) 	17 幸せの黄金鯛焼き 県美前 りんごあん (150円) 	18 焼津たいやき あおば 餡クリームチーズ (140円) 	19 たこ専浜松MAYONE店 抹茶 (150円) 
20 幸せの黄金鯛焼き 県美前 りんごあん (150円) 	21 焼津たいやき あおば たい焼きソフト (320円) 	22 たこ専浜松MAYONE店 クリーム (120円) 	23 鯛吉家 白たい焼 (160円) 	24 竹家 小倉 (120円) 	25 たい夢静岡バルシェ店 小倉あん (120円) 	26 幸せの黄金鯛焼き 県美前 抹茶クリーム (140円) 
27 たこ専浜松MAYONE店 クリーム (120円) 	28 たい夢静岡バルシェ店 小倉あん (120円) 	29 焼津たいやき あおば 餡クリームチーズ (140円) 	30 たい夢静岡バルシェ店 うふクリーム (120円) 	31 幸せの黄金鯛焼き 県美前 大納言粒あん (130円) 		

『日本と韓国(3)』



イラスト 増田佳奈(静岡大学)

沓名健一郎

Kubun Kenzo

静岡大学教育学部芸術文化課程書文化専攻 非常勤講師。愛知県名古屋生まれ。静岡大学教育学部書道選修卒・同大学院修了。高校2年時から大学で数学の研究室に所属し研究活動を行っている。以後、数学を中心に、生体情報、人間工学、認知科学の視点から、文字および書写書道の研究を行っている。

私と『静岡時代』の因縁(?)は2006-7年頃の創刊期までさかのぼります。初代の編集長だった河村純江さんという元気の良い学生が私の講義を受講していました。同時にその頃、私は学部の事情もよく分らないまま、学部の広報委員の仕事を抑せつかり、学部案内冊子の大改造の最中でした。そこで河村さんに、学部案内冊子改編のヘルプを依頼したのが因縁の始まりです。

まず、デザインや構成など、高校生や受験生が読んでみて国際関係学部生としての生活がイメージできるかどうか、という視点からアドバイスをいただきました。学部の多岐にわたる科目構成を一目で見てわかるキャッチフレーズで表す、4年間の学生生活の流れを一目で見てわかるグラフィックにする……等々。この年から学部案内が大幅に変わり、今もなお当時の基本構成が生きております。

さて「経営戦略論」的に『静岡時代』のこれまでを解説するならば以下の通りでしょう。県内大学生を主たる読者とした県内大学生によるフリーペーパー、という敵のいない市場「ブルー・オーシャン」を追求、独自のニッチなポジショニングを確立しました。プロダクト・ライフサイクルの陳腐化に際しても常に新しい企画を立てて衰退の危機を免れている。さらに自分の組織だけでなく県庁やその他の組織とコラボレーションを行ってオープン・イノベーションを行っている、とまで言う「Buzz」のセミナーあたりでウケそうです。しかし、『静岡時代』を支える人たち、即ち編集部や読者、様々な協力者の皆さんにとって、そんな分析や解説は蛇

私の勤めていた韓国の日本語学校の午前の授業は、朝3時半から7時、そして8時半から昼の12時。早朝の部は数人で、午前の部は10人程度。元空港関係の女性が多く、特にキャビンアテンダントの方は英語の発音に厳しく大変でした。「ハングル文字は優秀だから、英語の発音表記が、日本よりも正しい」というプライドからのようです。教科書に出てくるカタカナの「オレンジ」という読みですら「だから日本語は……」と愚痴です。「いやいや、英語の発音と日本語での発音は使い分けているのですよ」と説明しても、韓国人のプライドにはかないません。「taxi」を「テクシ」、「coffee」を「コヒ」などと呼ぶような韓国英語(これをコングリッシュというそうです)だつてあるのになあと思いましたが、韓国人の英語の発音が世界最高峰だと言いつつ、新米教師は退散です。しかし日本語の授業なので、そこは我慢してもらいましょう。韓国人は、できるだけ英語の発音に近づけてハングル表記にして、発音もとても近づけます。同様に日本語の単語も日本人と同じように発音しようとしています。だから韓国人は、日本語が日本語独特の抑揚やキリに合わせて外来語を変化させることに、違和感を持つのです。ハングル文字は、発音のバリエーションが豊富で、とても繊細に発音することができるようになっています。しかし韓国人は「つ」と「ぎじずぞ」の発音が苦手なので、生徒が「ハングル文字はどんな発音も表記できる優秀

な文字です。だから、韓国人はどんな発音でもできます」と言うたびに、「じゃあこの発音を試してみよう」と、「カツサンド」とか私の名前の「くつな」と書いて読ませると、「カチュサンド」とか「クチュナ」と、かわいらしい発音をしてくれるので、とても楽しかったです。韓国人の名前も苦労しました。まず教室の8割が金さんか朴さんですので、呼び分けるためにフルネームで覚えなければなりません。ハングルの発音はパッチム(読まない)やリエゾン(音がつながる)などがあって難しいのです。授業では日本語として文章を作りたいので、「キムさんは〜」などと書くと、「先生違います!キムです!」と怒られます。日本語では「金」を「キム」と書きますよと言っても、「それは間違いです!」と言われてハングル文字と発音について生徒に特別講義を受けることになってしまいます。同様に「朴」はアルファベットで「Park」と書いて、「パーク」と発音しなければいけません。「金」は「Kim」ですが、「ギム」と読むので注意が必要です。昼まで働く、次は午後1時から3時、そして午後5時半から深夜12時まで授業が続きます。韓国にも労働基準法があるはずですが、休憩時間は挟みませんが、肉体的な拘束時間は21時間、帰宅は深夜1時過ぎです。体力はありましたが、問題は声。声が枯れるので、お茶やショウガ茶、ユズ茶を常備して喉を保護。凄まじい仕事だったと今思います。

『静岡時代』雑感



イラスト 増田佳奈(静岡大学)

宮崎晋生

Kuniya Shinsuke

静岡県立大学国際関係学部国際関係学科講師。専門は国際経営論経営学。一橋大学社会学部卒、同大学院商学研究科修了。著作として「日本のスタートアップ企業」共著、有斐閣、2005等。企業の歴史的發展について考察しつつ、現状に対しては「休眠知識発掘ワークショップ」で新しい人・会社の結びつきを模索している。

足に過ぎないでしょう。常に自分たちの感性や知的好奇心を大事にし、芸術や恋愛事情から就活まで、大上段に構えるのではなく自分たちの視点で読み解こうとする。人のつながりを大切に、何より地域や母校を愛する……その姿勢が読む人にしだいに伝わってきたことが何よりの経営資源・資産ではないか、と思います。

ただ、個人的にはもつと『静岡時代』にははじめてほしいと思っています。多少の物議を醸しても、頭が固くなった「大人」たちには理解不能なぐらいのアイデアが出てきて欲しい(もちろん公序良俗に反しない程度で)。または読み物から一歩抜け出してイベントやワークショップをやるのもいい。おもしろいからみんな一緒にやろうよ、不景気なんて、若者論や就活云々なんて笑い飛ばせばいいじゃないか。そうすれば更にほかのビジネスやNPO等とコラボレーションする可能性も広がってゆきそうですし、なにより県内大学の位置づけが変わっていくでしょう。今後は新しい方向性に期待しています。

最後に、この場を借りてさらっと私の研究室の取り組みについて宣伝したいと思います。まだうまくいくか先行きが不透明だったり、すでに失敗したりボツになりそうな企業経営上のアイデアや知識、技術などを発表してもらおう「休眠知識ワークショップ」を月一回のペースでやっております。読者の方々に発表を希望する方がいらっしやいましたら、下記までアクセスしていただければ幸いです。

<http://www.facebook.com/kuniozmzk>

真っ当もぐりのススメ

①「単位互換制度」は定番です。

隣の大学に、どんな先生がいて、どんな学生がいるのか意外と知らない。似たような学部名でも大学によって様々。でも、大学間の交流が全くないわけではないんです。大学を超えた学びの機会、使わなきゃもったいない？



平井 響さん

静岡県立大学 国際関係学部 国際言語文化
学科 4年生。大学2年の頃に、単位互換制
度を使い、静大の授業を受講。

「真っ当もぐり」とは、
「真っ当な手段で他大学に潜り込
む大学生」のことを言う。

「ド直球は、「単位互換制度」。その活用法。

——平井さんは二年生の時に静岡岡大との単位互換制度を利用されたそうですが、どうして利用しようと思ったのですか？

ガイドランスの時にシラバスを見ていたら、県大の国際関係学部と静大の人文社会科学部が単位互換を行っていることを知ったんです。この制度を利用しようと思ったのは、「静大ってどんなところだろう？」という単純な興味からですね。私が受けたのはギリシャとローマの歴史を学ぶ西洋概説史の授業です。一年生の時に県大でも同じような授業を受けたのですが、もともと知ってみたいなと思ったんです。手続きは結構簡単で、私の場合は学部から単位交換制度の案内があったので、学生室に行き、書類をいただきました。その書類に指導教員の先生のサインをいただき提出するという手順です。

——意外と簡単なんですね！ 実際利用してみてもどうでしたか？

単純に単位互換制度を利用してよかったなと思っています。私が受講した西洋概説史の授業は、小ネタをばさみながらの授業とても面白かったです。授業以外の面でもいろいろな楽し

みがあるんですよ。やっぱり一番の楽しみは学食でした。静大の学食美味しかった。あと学生の雰囲気の違いを体感しました。県大生とは全く違う雰囲気。アウェイ感はあるんですけど、それを味わえたのは面白かったです。校内に馬がいたり、県大にはない生協があったり、毎週何かしらの発見があって、授業はもちろん、静大に行くのが楽しみになっていましたね。

——そんな楽しみ方があるとは！でも実際、大学間の距離も結構あるので大変なこともあると思っんですが。注意したほうがいいことはありませんか？

他大学のシラバスは見慣れていないので、調べるのなかなか苦労しますが、下調べをしておくといいですね。

——では、単位互換制度の一番の良さは？

なんといっても他大学に行けるという事です。単位互換制度の一番の目的は授業ですが、授業を受けてみないことには面白いか分からないので、他大学の授業を受けたほうがいいと言いたい。でも他大学に行くことで、いつもとは違う雰囲気や授業を受けたり、はたまたおいしい学食を発見したり。何かしら得られるものはあると思います。県内出身の人なら、友達がいる大学に行くと、友達に会うことも出来ます。各大学で単位互換制度はそんなに知られていないんですかね？ 大学側がもっとPRしてもいいと思います。高校の時は、オープンキャンパスや受験でいろんな大学を見てまわるわけですから、きっと他大学に興味を持っている人は結構いると思うんですよ。学部名を聞いても何をやってるのか分かりづらいので、ためらうものがあると思いますが、「とにかく他大学に行ってみる」というその程度でいいと思います。ぜひ多くの人に気軽に活用してほしいですね！



平井さんの通った静岡大学人文社会科学部の人文棟。静大の一番上に位置し、静大生の間では「天空の城」と呼ばれている。

真っ当もぐりのまとめ

「単位互換制度は、とにかく美味しい。まずは学食食べにでも。」

静岡県内の大学で実施されている単位互換制度は、調べてみると意外とあるんです。例えば、静岡大学人文社会科学部・教育学部と静岡県立大学国際関係学部・経営情報学部。静岡産業大学経営学部と静岡大学農学部・情報学部。今春には静岡大学農学部と静岡英和学院大学短期大学部の間でも。西部では、西部9大学による共同授業も行われているそう。各々の得意分野が融合することで、学びの可能性が広がります。あなたの今の学びが違った視点で見えるかも！？ いざ、真っ当もぐりへ。



大学生がつくるフリーペーパー 大学生の今を切り取る雑誌『静岡時代』



季刊で、毎月一万部を県内の大学（浜松医大、順天堂大学を除く）で配布・設置しています。

今年で
創刊8年目！

大学生の現在の等身大の疑問を取り上げ、企画から取材、編集までを大学生が行っています。『静岡時代』が目指すのは、毎月100人の静岡県の大学生と知恵者と同じ誌面に結集させること！それは、静岡県内の大学とその周辺の静岡県の街の中の人を結ぶ「知の地図」を作るといふこと。目の前にあるあらゆるものに対する可能性をもう一度認識しなおすアクション！そして、いま持っている自分の価値観に対して強烈な転換点をもたらす体験を与えよう人、知性、見識が、実は静岡の街にもたくさん存在するのだという事実を再確認することです。そして、いつかこの大きな知の交通網が強たくわたしたち大学生と地域の人々を結び、発展に導いてくれたら……。

静岡県庁×静岡県の大学生プロジェクト 静岡をアゲて行くセンター「静岡未来」



現在の静岡県が誕生した1876年からこれまでの出来事をピックアップしたタイムラインも必見。

p24-25の漫画も
チェックしてね！

静岡県庁と静岡県の大学生が共同で運営するSNS企画を起点にはじまった、静岡県の可能性と魅力を広く静岡県内外のみならずと共有するためのプロジェクト。県庁のお知らせと共に、大学生活の便利情報から県内研究室のアカデミック最前線、就職情報まで様々な情報を紹介。「自分の未来」と「地域の未来」は無関係じゃない。静岡がこれまでどのようにつくられてきて、静岡にはどんな人があるのか、どんな未来をつくっていかようとしているのか、静岡の過去・現在を知ることで未来を考えて行こう。これからの地域を担っていく私たち大学生の知を結集して静岡県の未来の青写真をつくるプロジェクトです。

いま、起こっていることの「ホント」を静岡県の大学社会 と街の賢人が結集して読み解く web マガジン



「静岡時代～シズオカガクセイの新聞」
<http://gakuseinews.eshizuoka.jp/>

文字通り、『静岡時代』のweb版です。雑誌の『静岡時代』は季刊誌で、かつ基本的に大学構内配布という「狭いけど深い」媒体ですが、web版はほとんどフレキシブル。静岡県の大学生とその周辺のいまを（あなたの活動を、あなたの知恵を！）、素早く、広く遠くまで届けたい。なお、静岡時代のバックナンバーをアーカイブ。毎月集うあの「100人」が、オンラインスペースにどんどんと貯まって(?)行く。FB『静岡未来』とフル連動し、その膨大な静岡の知恵者たちを静岡県の知の伝道師として世界中に「いいね」拡散させて行きたい。キャリア情報や、高校生に向けた県内大学情報も載っています。静岡の大学社会に集積している学智をもとに、現代（いま）を読み解き未来を考えるヒントを集めるwebマガジン。

静岡時代

そもそも、「静岡時代」ってなに？

「静岡時代」は、静岡県の大学生の研究や活動をもっと外へ、静岡県のひとに届けられるべき地元の情報や地元の一ひとの知恵を大学生へ、そうした大切な情報、知恵をもっと手軽に、より広く効果的に届けるために必要なPR活動とネットワークの構築と管理を行っているNPO法人です。

例えば、学校を超えた静岡県の大学生社会と地域社会に対してプレゼンテーションできる仕組みを整備すること。静岡県の地域社会と大学生、両者のコラボレーションの機会を可能な限り増やすこと。

雑誌『静岡時代』や静岡県庁との共同運営企画「静岡未来」をはじめ、多数のプロジェクトを行っています。

静岡時代の「8つのコンセプト」

- ① 静岡県の大学生に向けたメディア制作やイベント企画などを通し、静岡県の大学生をつなぐ。
- ② 大卒後数年の新社会人同士・同世代の大学院生をつなぐネットワーク構築。共に成長する環境づくり。
- ③ 世代を超えた地域全体の知の接続。社会の視点を大学生に、大学生の学びの現場を高校生に伝える。
- ④ 大学生の研究や活動などを地域社会に向けPR。地域と大学生のよりよい出会いの機会をつくる。
- ⑤ 自治体をはじめ、静岡県の地域発の伝えられるべき情報を最適な方法で静岡県の大学生に伝える。
- ⑥ 静岡時代の蓄積したノウハウを導線に、大学生や団体を可能な限りたくさん巻き込んで社会参画。
- ⑦ 静岡県の大学生社会と地域社会が共に集まれる場作り。知恵を結集し、共同体運営の将来を考える。
- ⑧ 静岡県の地域社会のプレゼンスを大学生社会から高め、静岡県で学ぶことを憧れる人々を増やす。



静岡の大学生の総合学園祭！ 「カレッジサミット」のこれから。

静岡県庁と共同で企画・運営をしている「静岡未来」や本誌6月号にて、静岡時代の新プロジェクト「カレッジサミット構想」を旗揚げ。これから実現に向けて、企画を煮詰めていく行程を丸ごと公開していきます！

まずは、とにかく聞きまくるインタビューから。

静岡県庁と静岡県の大学生の期間限定コラボレーションプロジェクト「カレッジサミット」は、大学の枠を超えた大学生が一同に集まる寄り合いをつくるというもの。一言でいうと、静岡県の大学の「総合学園祭」。例えば、大学生の研究や活動をもっと外へPRしたり、静岡の大学や街をもっと面白くするためのパネルディスカッションをしたりといった展開を考えています。

大学間と地域の連携を強め、大学の質的向上を目指す「大学コンソーシアム設立」という動きが静岡にもあるように、地域にとつての大学、静岡で学ぶということの価値がいま問われています。だからこそ静岡の大学生である私たちは、静岡県でなぜ学ぶのかを考え、伝えていく必要があるのではないのでしょうか。静岡県が50年後も100年後も変わらずあって、大学生がいて、幅広い地域から人々を惹き付ける場所であってほしい。そのために私たち大学生ができることを考えてつくってきたい。

構想を発表したワークショップでは、「面白い」と答えた人は全体の約8割。ですが、大学生や大学、地域の底上げが期待できると好評を頂く一方で、目的意識を明確にする



るという課題も浮き彫りに。大学生の研究や学びを外へPRする場を設けることで、静岡の大学のプレゼンスを高めたいと思っではいるものの、まだまだ企画は穴だらけ。そこで、実現へ向けて企画を煮詰めるべく、カレッジサミットに関してもとにかく聞きまくるインタビューを行います。そもそも静岡の大学ってどうなの？カレッジサミットどう思う？どんな展開が面白いと思う？など。大学生や先生、大学関係者、静岡の街の人の声を集めながら、課題をあぶり出し、ブラッシュアップしていきます（その過程は全て公開していきます！）。是非、みなさんの声を聞かせてください。

カレッジサミットに関する続報は、 「静岡未来」をチェックしてください！

静岡の大学ってどんな？インタビュー必読！

「静岡未来」や静岡時代WEB版「シズオカガクセイの新聞」にて順次お報せ。インタビュー企画から計画、アイデアまで。支援者、協力者は随時募集中です！

構想のきっかけとなった静岡未来！

静岡県×静岡時代 Facebook ページ

静岡未来

静岡未来

静岡時代スタッフ大募集中！

- とにかく、ものを作る事が好き。
- 出版・マスコミ系の業界に興味がある。
- 「仕掛人」という言葉に燃える。
- 大学生活でなんか成し遂げたい。
- 他大学の学生や教授と交流したい。
- 正直、目立ちたい。
- 何か強烈に伝えたいことがある。
- 静岡時代のコンテンツを使って、もっと面白いことしたい。
- 静岡県庁となにかタッグを組みたい。

ひとつでも当てはまった人は……

企画・運営の段階から深く関わる編集マン、実際に取材して原稿を書くライター。誌面デザイン担当のDTPオペレーター。

「静岡時代スタッフ」と言っても関わり方や仕事はいろいろ。

興味を持たれた方は、編集部までご連絡ください。

静岡時代編集部 henshu@shizuokajidai.org

★詳細はメールにて。名前、大学、学年を記入の上、お問い合わせください。

★最低、週1回の打ち合わせ会議に参加できる方に限らせていただきます。



編集部宛
メール



未来を見つめ未来をつかめ!

「人」のため

「地域」のため

「世界」のため

貢献してみませんか?



募集種目	受付期間	1次試験日
貸費学生	25年12月1日~26年1月10日	26年3月 1日
防衛大学校一般(後期)	26年1月22日~31日	26年1月25日



詳しくは...

静岡地本

検索



静岡地方協力本部 TEL-054-261-3151



配布大学一覧

- 静岡大学 静岡キャンパス
- 静岡大学 浜松キャンパス
- 静岡県立大学
- 静岡県立大学短期大学部
- 東海大学 清水キャンパス
- 東海大学短期大学部
- 静岡英和学院大学
- 静岡産業大学 藤枝キャンパス
- 静岡産業大学 磐田キャンパス
- 静岡福祉大学
- 静岡理工科大学
- 静岡文化芸術大学
- 聖隷クリストファー大学
- 浜松学院大学
- 常葉大学 瀬名キャンパス
- 常葉大学 浜松キャンパス
- 常葉大学 富士キャンパス
- 日本大学 三島キャンパス

「静岡時代」名前の由来

静岡で「大学生として過ごした時間」を後になって振り返ってみれば、それは誰にとってみても静岡の風景であって、空気であって、人々の顔であるのだろうと、それはつまり「静岡時代」なのだと思います。私たち学生から見える静岡という街の姿を丁寧に切り取って、積み重ねて行けたらという願いをこの名前に込めています。

次回予告(2013年12月1日配布予定)

静岡のロックを探せ!

静岡といえば、あったかくてのんびりしているとわれがちだけど、そんな街でもロックな一面はあるんじゃないの?

大学生がつくるフリーマガジン『静岡時代』32号

読者プレゼントのお知らせ

人気連載企画「そうだ、この駅で」から、今回は沼津のお土産(栗せんべい、茶飴、ジャムクッキー)を1名様にプレゼント(詳しくはp.30~32)。氏名・大学・学年・性別を明記の上、静岡時代10月号の感想を添えて、下記までご応募ください。(締め切り/10月末)
mail: henshu@shizuokajidai.org

- 発行人 鈴木智子(静岡大学大学院)
- 編集人 服部由実
- 編集長 天野和佳子(静岡大学)
- 副編集長 木下莉那(常葉大学)
- 編集 野村和輝(静岡大学) 須藤千尋(静岡県立大学)
- 鈴木理那(静岡大学) 小池麻友(静岡県立大学)
- 増田佳奈(静岡大学) 梅田愛(静岡文化芸術大学)
- 櫻田那美記(静岡大学) 漆畑友紀(静岡英和学院大学)
- 度會由貴(静岡大学) 亀山春佳(静岡英和学院大学)
- 池野民基(静岡大学) 山下綾(常葉大学)
- デザイン 静岡時代編集部
- 澤田麻衣(常葉大学) 山下綾(常葉大学)
- 表紙デザイン・ロゴ 亀澤希美子(マレノワデザイン)

発行: 特定非営利活動法人 静岡時代~大学生による、伝えるということ、街について考えるプロジェクト

〒420-0029 静岡県静岡市葵区研屋町25 第二金座ビル406

mail: henshu@shizuokajidai.org facebook: http://www.facebook.com/shizuoka.mirai

HP: http://www.shizuokajidai.net/

平成25年度 若者のための 働くルール習得業務



静岡県では大学生等の若者に対して、社会で働くために必要なルールを身につけてもらい、雇用のミスマッチ解消、早期離職防止などに取り組む「平成25年度 若者のための働くルール習得業務」を実施することになり、NPO法人 人財フォーラムが業務受託をしました。

10月から県内大学に出向き、「就活に役立つ労働法基礎知識」など、働くルールを伝える講座を実施していきます。

みなさんの大学でも講座開催があったら、ぜひ受講してください！



12月～1月には県内3ヵ所で地域講座を開催します。詳しくはHPで確認してね。

知ってる？

労働法 ○×クイズ

- 働くときに給料や休日の事などは口約束でもかまわない
- 法律で定められた1週間の労働時間は40時間である
- アルバイトでも労災保険は適用される
- 業績悪化という理由であれば内定取消はできる
- 応募の際に求人票でみた労働条件と採用後の労働条件が違うケースもある



○答えはWEBで確認！

人財フォーラム

検索

NPO法人 人財フォーラム

働くことに夢をもてる社会を